

第39回 豊川市地域公共交通会議 資料

<目 次>

1. 【報告事項（１）】豊川市コミュニティバスの運行実績及び取り組み結果について
2. 【報告事項（２）】アンケート調査結果について
3. 【協議事項（１）】運行計画の変更について
4. 【協議事項（２）】地域公共交通確保維持改善事業の評価について

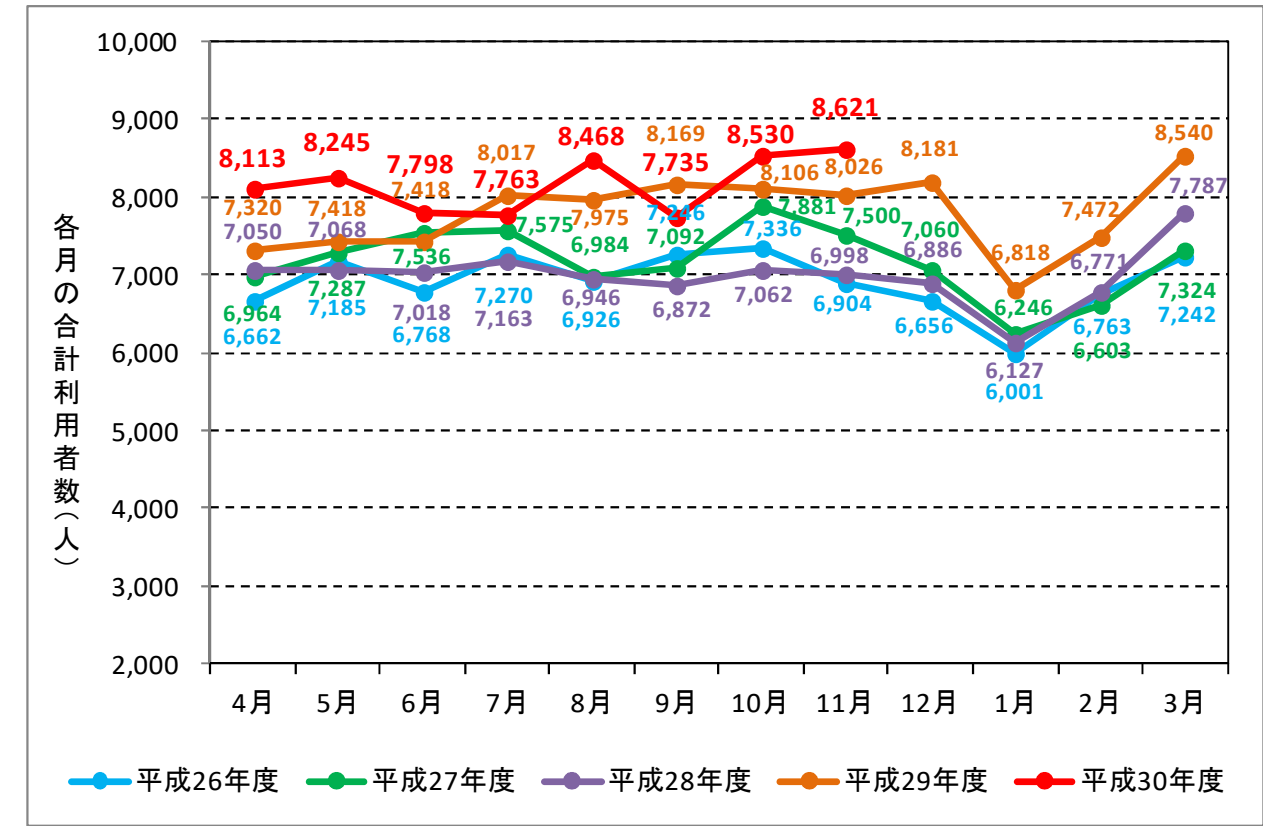
平成30年12月26日

1. 【報告事項（1）】豊川市コミュニティバスの運行実績及び取り組み結果について

1-1. 豊川市コミュニティバス利用者数の推移

新たな体系で運行を始めた平成28年10月以降においては、利用者数が前年同月より下回る状況が続きましたが、次第にその減少幅は小さくなり、平成29年2月以降からは対前年同月を上回るようになり、平成29年度は全ての月で前年同月を上回りました。

平成30年度は、7月と9月を除いて前年同月を上回りました。運行開始から平成30年11月までの85ヶ月間の総利用者数は約58.7万人となっています。



豊川市コミュニティバスの利用者数

※ 路線の主な見直し

- 平成24年10月 1日：一宮地区地域路線の路線変更
(2路線<東回り、西回り>に1路線<中回り>追加)
- 平成24年10月 1日：御油地区地域路線の運行開始
(1日6便による運行で、御油地区と国府駅を結ぶ路線で運行開始)
- 平成25年 5月 1日：豊川市民病院の移転に伴う路線再編
(豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線の市民病院の経由)
- 平成26年 5月 1日：御油地区地域路線の運行本数の変更
(1日6便から8便へ増便)
- 平成27年 5月 1日：御津地区地域路線の路線変更
(路線を5路線から7路線へ分割し、放射状の路線形態へ変更)
- 平成28年10月 1日：ダイヤ及び運行本数の変更、運賃体系の変更
(豊川国府線、音羽線、御津線は豊川市民病院以東を減便し、豊川市民病院以西を増便、ゆうあいの里小坂井線は最終便を減便)

1-2. 路線別の月別利用者数の推移

平成28年10月から新たな体系で運行を始め、平成30年度の4～11月の合計は平成29年度の同月合計を上回っています。路線別でみると、豊川国府線、音羽地区地域路線、一宮地区地域路線を除いた基幹路線5路線、地域路線2路線の計7路線において、平成30年度の4～11月の利用者数が平成29年度の同月合計を上回っています。

平成28年度路線別の利用者数推移													
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成28年度合計
豊川国府線	943	957	897	951	816	953	780	892	799	740	788	872	10,388
千両三上線	912	931	966	962	944	925	1,043	978	979	932	921	1,036	11,529
ゆうあいの里小坂井線	747	734	690	667	836	659	737	749	681	609	740	917	8,766
一宮線	1,024	980	906	1,010	915	934	1,053	1,057	967	935	1,054	1,150	11,985
音羽線	692	758	725	810	782	699	713	773	860	598	707	928	9,045
御津線	611	661	713	672	678	660	698	575	546	479	502	654	7,449
つつじバス (音羽地区地域路線)	905	841	912	905	888	842	735	695	832	721	805	899	9,980
ハートフル号 (御津地区地域路線)	269	291	306	229	113	272	292	284	266	245	281	268	3,116
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	521	530	510	518	495	469	524	542	452	508	501	572	6,142
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	426	385	393	439	479	459	487	453	504	360	472	491	5,348
合 計	7,050	7,068	7,018	7,163	6,946	6,872	7,062	6,998	6,886	6,127	6,771	7,787	83,748

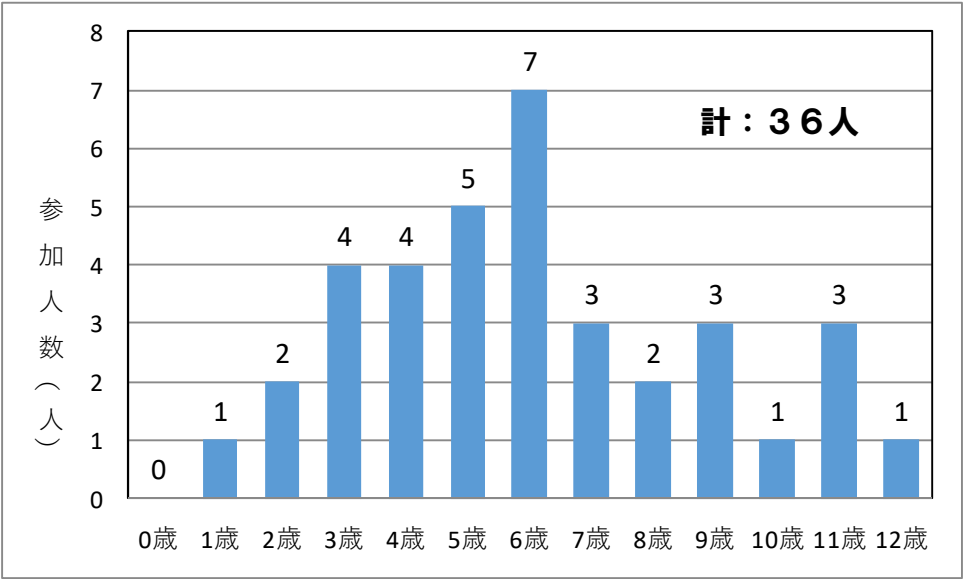
平成29年度路線別の利用者数推移														H28との比較	
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年度合計	増減数	増減率
豊川国府線	853	973	973	1,049	832	1,036	917	968	919	795	869	1,010	11,194	806	7.8%
千両三上線	989	1,011	1,046	1,118	1,054	1,072	988	1,025	1,017	836	848	1,081	12,085	556	4.8%
ゆうあいの里小坂井線	861	782	789	908	965	996	947	959	1,054	929	949	1,041	11,180	2,414	27.5%
一宮線	1,000	1,084	1,082	1,151	1,057	1,043	1,187	1,261	1,195	1,010	1,307	1,342	13,719	1,734	14.5%
音羽線	735	793	790	852	900	898	941	885	979	711	880	963	10,327	1,282	14.2%
御津線	694	762	697	657	805	715	727	684	726	632	676	857	8,632	1,183	15.9%
つつじバス (音羽地区地域路線)	868	729	713	851	1,012	953	996	861	909	673	715	869	10,149	169	1.7%
ハートフル号 (御津地区地域路線)	270	275	282	226	164	263	315	332	283	255	287	288	3,240	124	4.0%
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	525	481	460	600	588	575	471	484	411	426	453	488	5,962	-180	-2.9%
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	525	528	586	605	598	618	617	567	688	551	488	601	6,972	1,624	30.4%
合 計	7,320	7,418	7,418	8,017	7,975	8,169	8,106	8,026	8,181	6,818	7,472	8,540	93,460	9,712	11.6%

平成30年度路線別の利用者数推移													
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成30年度合計
豊川国府線	944	974	940	948	977	840	905	921					7,449
千両三上線	1,018	1,037	1,020	975	1,083	1,013	1,115	1,096					8,357
ゆうあいの里小坂井線	1,005	1,019	1,037	932	1,049	876	984	998					7,900
一宮線	1,117	1,154	1,057	1,100	1,194	1,126	1,268	1,385					9,401
音羽線	1,049	1,062	988	949	1,060	901	1,005	1,007					8,021
御津線	722	754	718	732	839	744	752	712					5,973
つつじバス (音羽地区地域路線)	872	830	765	812	951	876	816	755					6,677
ハートフル号 (御津地区地域路線)	313	332	250	239	139	229	331	336					2,169
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	434	462	439	464	483	525	620	621					4,048
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	639	621	584	612	693	605	734	790					5,278
合 計	8,113	8,245	7,798	7,763	8,468	7,735	8,530	8,621	0	0	0	0	65,273

1-3. 夏休み路線バス探検キャラバン

豊鉄バスにご協力いただき、平成30年8月4日（土）に夏休み路線バス探検キャラバンを以下のように開催いたしました。昨年度と同様に、普段では見ることのできないバス整備工場の見学や、路線バスとの綱引き対決などを実施しました。

- (1) 日時 平成30年8月4日（土） 午前9時30分～午後0時30分
- (2) 場所 豊鉄バス株式会社 植田車庫
- (3) 対象 小学生以下と保護者
- (4) 申込者数 113人（子ども62人、大人51人）
- (5) 参加者数 66人（子ども36人、大人30人）
- (6) 参加者（子ども）の内訳



参加した子どもの年齢別内訳



バスとの綱引き対決の様様



車内での洗車機体験の様様

(7) アンケート結果

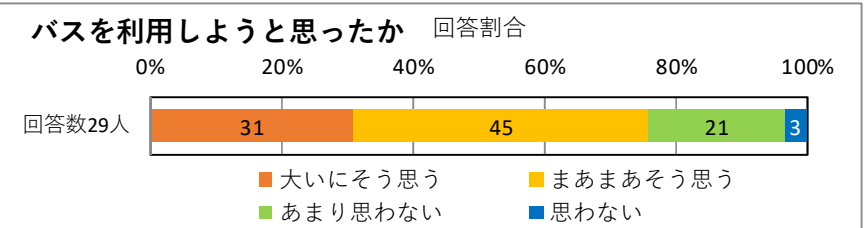
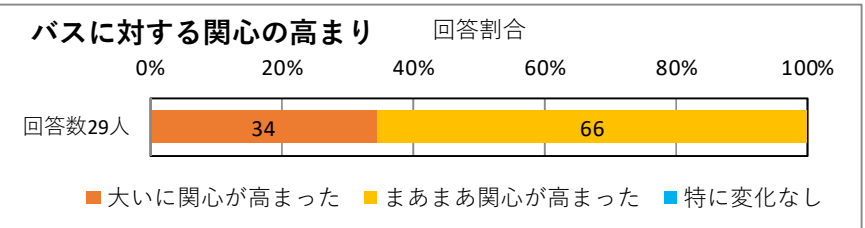
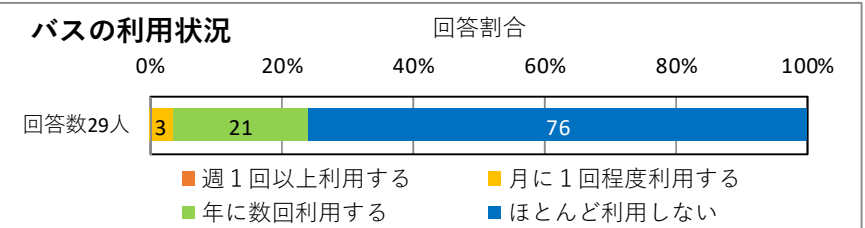
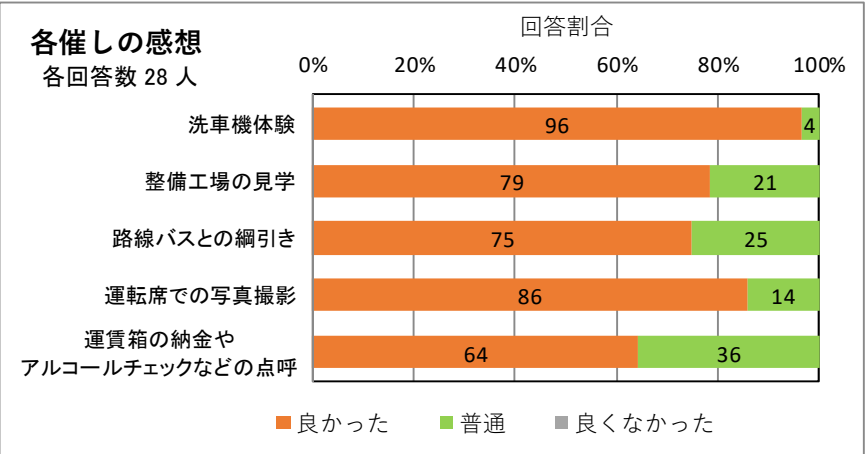
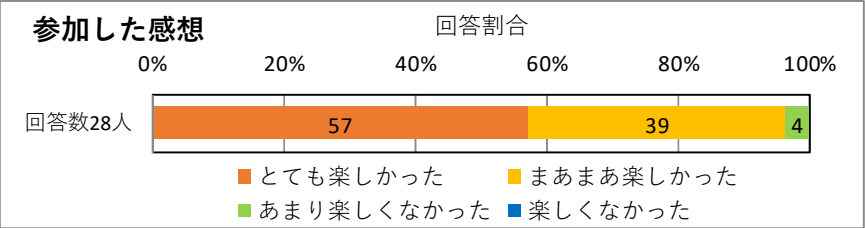
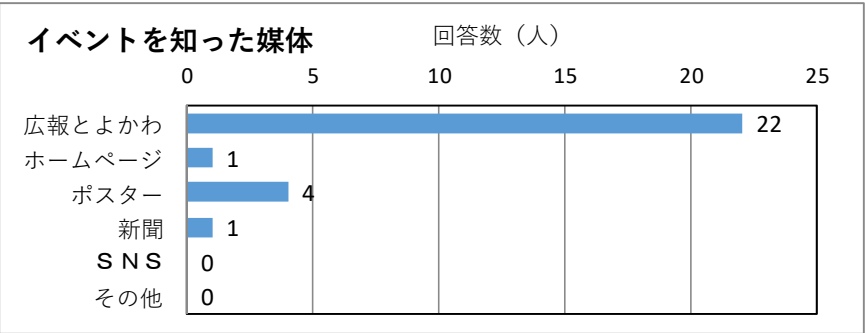
イベントの参加者にアンケートの協力をいただきました。

イベントを知った媒体は「広報とよかわ」が最も多くなっています。

イベントの参加の感想は、「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」を合わせて96%を占め、各催しの感想も「良かった」が60～90%前後を占め、楽しんでもらえた結果となっています。

また、現時点のバスの利用状況は「年に数回利用する」「ほとんど利用しない」の回答割合が76%を占めていますが、「バスへの関心の高まり」や「バスを利用しようと思ったか」については、それぞれ「関心が高まった」「そう思う」という好意的な回答が多くを占めました。

アンケートの回答割合



1－4． 夏休み小学生50円バス

東三河地域において、夏休み期間中（7/21～9/2）に小学生の運賃を一律50円とするキャンペーンを実施しました。

実施期間中の豊川市コミュニティバスの小学生50円バスの利用状況は以下のとおりです。

豊川市コミュニティバス路線全体では、1日平均の利用者数では約6.5人/日（期間中計286人）となっており、平成29年度の約6.6人/日（期間中計278人）と比べて、利用者数はほぼ横ばいとなっています。

路線別では、豊川国府線、千両三上線、一宮線、御津線、音羽地区地域路線、御津地区地域路線、御油地区地域路線は前年を上回る結果となっていますが、その他の3路線は前年の約5～7割の利用となっています。

当利用促進イベントに参加する東三河地域全体の利用者数は10,127人（1日平均約230人）が利用し、平成29年度の10,227人（1日平均約243人）と比べてやや微減となりました。

※豊鉄バスの豊橋・新城・渥美の各営業所合計では、期間中に8,851人が利用しました。（1日平均約201人）

※平成29年度は、8,806人（1日平均約209人）

年度 路線名		過年度の実績					平成30年度実績 実施期間:7/21～9/2				H30/H29 年度比較
		平成25 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	7月	8月	9月	合計	
基幹路線	豊川国府線	63	100	57	112	50	7	52	0	59	118.0%
	千両三上線	24	40	24	35	26	6	36	0	42	161.5%
	ゆうあいの里小坂井線	15	65	94	44	64	3	36	4	43	67.2%
	一宮線	68	46	55	33	37	1	44	2	47	127.0%
	音羽線	161	91	91	94	29	1	13	1	15	51.7%
	御津線	57	41	47	72	31	12	22	0	34	109.7%
	基幹路線合計	388	383	368	390	237	30	203	7	240	101.3%
地域路線	音羽地区地域路線	23	39	63	50	14	1	13	1	15	107.1%
	御津地区地域路線	24	20	16	36	13	8	10	0	18	138.5%
	一宮地区地域路線	0	7	8	1	3	0	2	0	2	66.7%
	御油地区地域路線	9	9	11	8	11	0	10	1	11	100.0%
	地域路線合計	56	75	98	95	41	9	35	2	46	112.2%
総合計		444	458	466	485	278	39	238	9	286	102.9%

1－5．地域協議会意見交換会・勉強会

「豊川市地域公共交通網形成計画」で位置付けている「利用促進活動の実施」の具体的な取り組みとして、住民との連携による公共交通利用意識の向上を目指し、地域のバスを守る意識を高めるための地域協議会意見交換会・勉強会を以下のとおり実施しました。

内容は、「地域でバスを守るために」と題した基調講演、豊川市コミュニティバスの運行実績の説明、今後の利用促進に活用することを目的としてワークショップ形式で地域協議会ごとにバス広告チラシを作成し、会の最後に作成したチラシの発表と意見交換を実施しました。

意見交換会では、各地域における課題や観光資源などについて意見が出されました。

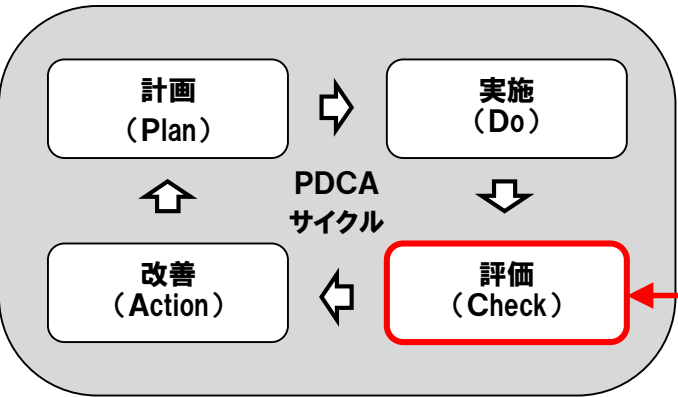
- | | |
|--------|---|
| (1) 日時 | 平成30年12月13日(木) 午後2時～ |
| (2) 場所 | 豊川市勤労福祉会館(視聴覚室) |
| (3) 参加 | 11名 |
| (4) 内容 | ①基調講演「地域でバスを守るために」
講師：(株)トーニチコンサルタント中部支社 前田 拓二 氏
②平成30年10月までの豊川市コミュニティバスの運行実績について
③ワークショップ |



地域協議会意見交換会・勉強会の様子

2.【報告事項（2）】アンケート調査結果について

次期形成計画に向けて、現計画の目標達成度合いの検証と取り組みの評価及び移動ニーズ等の基礎データを把握するため、以下に示す4つのアンケート調査を実施しました。



地域公共交通網形成計画での評価スケジュール						
実施項目	年度	計画期間				
		H28	H29	H30	H31	H32
地域公共交通会議		●	●	●	●	●
日常的利用者数調査		●	●	●	●	●
詳細な利用者数調査				●		
利用者アンケート				●		
市民アンケート				●		
基幹路線の評価					●	
基幹路線の改善		□	□	□	□	□
地域路線の評価・改善		□	□	□	□	□
その他各事業の評価・改善		□	□	□	□	□
計画の評価						●

●:実施 □:必要に応じて適宜実施

2－1. 実施したアンケート調査

（1）調査の種類

- ・調査1：公共交通に関するアンケート調査（市民アンケート）
- ・調査2：バス利用者アンケート調査（豊川市コミュニティバス：全10路線対象）
- ・調査3：バス利用者アンケート調査（豊鉄バス新豊線・豊川線：豊川市内区間対象）
- ・調査4：鉄道利用者アンケート調査（豊川市内の19駅の乗降客対象）

（2）調査方法と実施時期

- ① 調査1：公共交通に関するアンケート調査（市民アンケート）
- ・15歳以上の市民を対象として2,000人（世帯）を無作為で抽出し、アンケート調査票を自宅へ郵送し、後日郵送回収しました。

●郵送時期：平成30年8月上旬

- ② 調査2：バス利用者アンケート調査（豊川市コミュニティバス：全10路線対象）
- ③ 調査3：バス利用者アンケート調査（豊鉄バス新豊線・豊川線：豊川市内区間対象）
- ・調査2と調査3のバス利用者アンケート調査は、車両に乗車する調査員またはバスの運転手が、返信用封筒に入れたアンケート調査票を手渡しで配布し、後日郵送回収しました。

●調査日

【豊川市コミュニティバス：全10路線対象】5日間調査を実施（終日全便を対象）
調 査 日：平成30年 7月 3日（火）～7日（土）の5日間

【豊鉄バス新豊線・豊川線：豊川市内区間対象】2日間調査を実施（終日全便を対象）
平日調査日：平成30年 7月 3日（火）
休日調査日：平成30年 7月 7日（土）

- ④ 調査4：鉄道利用者アンケート調査（豊川市内の19駅の乗降客対象）
- ・豊川市内の19駅の改札口の手前で、調査員が返信用封筒に入れたアンケート調査票を手渡しで配布し、後日郵送回収しました。

●調 査 日：平成30年7月18日（水）

●調査時間：7：00～19：00（12時間）

【アンケートの回収状況】

表-公共交通に関する市民アンケート回収結果（調査1）

駅名		配布数 (枚)	回収数 (枚)	回収率 (%)
市民アンケート	回収封筒	2,100	636	30.3%
	回答状況	記入総数：1,502 名		1通あたり 2.36名記入

表-バス利用者アンケート回収結果（調査2・3）

路線名			配布数 (枚)	回収数 (枚)	回収率 (%)
豊川市 コミュニティバス	基幹 路線	豊川国府線	55	27	49.1%
		千両三上線	72	35	48.6%
		ゆうあいの里小坂井線	63	36	57.1%
		一宮線	53	21	39.6%
		音羽線	32	19	59.4%
		御津線	37	12	32.4%
		小計	312	150	48.1%
		計	441	224	50.8%
	地域 路線	音羽地区地域路線	55	38	69.1%
		御津地区地域路線	16	9	56.3%
		一宮地区地域路線	14	7	50.0%
		御油地区地域路線	44	20	45.5%
		小計	129	74	57.4%
豊鉄バス	平日		282	63	22.3%
	休日		126	36	28.6%
	小計		408	99	24.3%
合計			849	323	38.0%

表-鉄道利用者アンケート回収結果（調査4）

路線名	駅名	配布数 (枚)	回収数 (枚)	回収率 (%)
名鉄 名古屋本線	1 名電長沢	100	24	24.0%
	2 名電赤坂	165	42	25.5%
	3 御油	201	47	23.4%
	4 国府	1,223	310	25.3%
	5 小田渚	128	27	21.1%
	6 伊奈	568	120	21.1%
名鉄 豊川線	7 八幡	372	82	22.0%
	8 諏訪町	669	154	23.0%
	9 稲荷口	295	54	18.3%
	10 豊川稲荷	339	64	18.9%
JR東海道 本線	11 愛知御津	459	88	19.2%
	12 西小坂井	398	85	21.4%
JR飯田線	13 小坂井	80	43	53.8%
	14 牛久保	434	55	12.7%
	15 豊川	795	166	20.9%
	16 三河一宮	155	27	17.4%
	17 長山	96	10	10.4%
	18 江島	38	8	21.1%
	19 東上	101	15	14.9%
計		6,616	1,421	21.5%

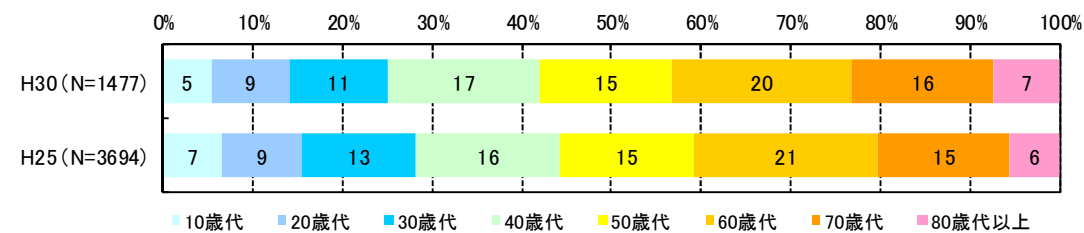
2-2. アンケート調査結果の概要

(1) 公共交通に関する市民アンケート

① 年齢構成（問 2-2）

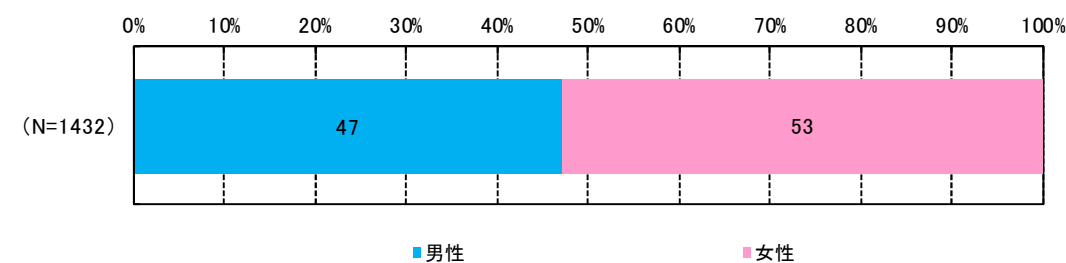
無作為で抽出しており、回答者の年齢構成に大きな偏りはありません。

また、平成25年度調査と比べると、やや平成30年度調査では高齢者の回答が多いものの、目立った相違はありません。



② 性別（問 2-1）

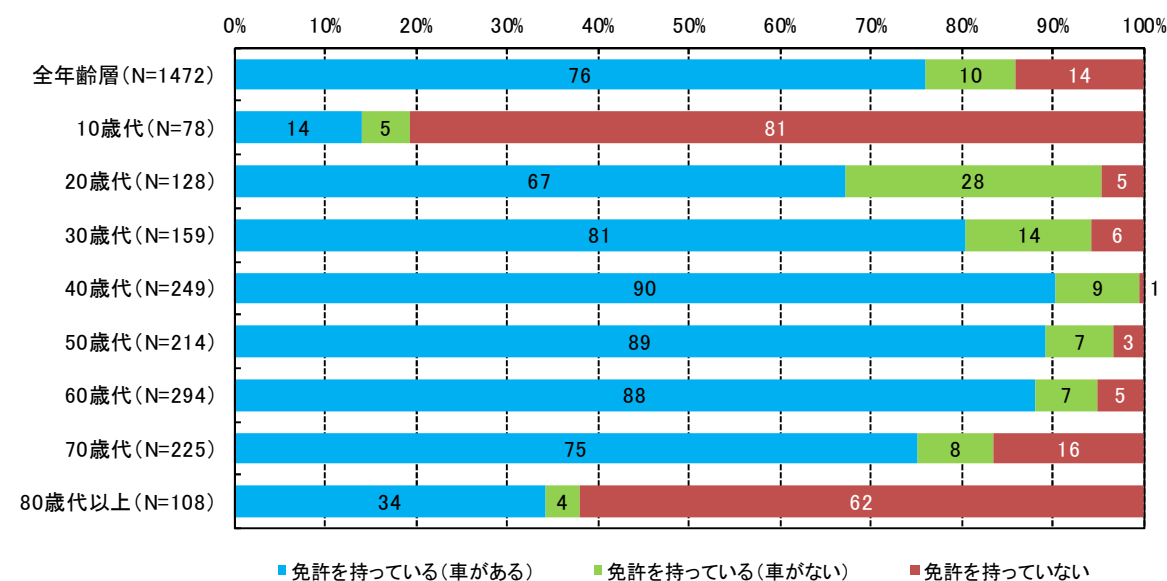
性別はやや女性が多くなっていますが、割合は概ね同程度となっています。



③ 運転免許証の保有状況（問 2-2、問 2-4）

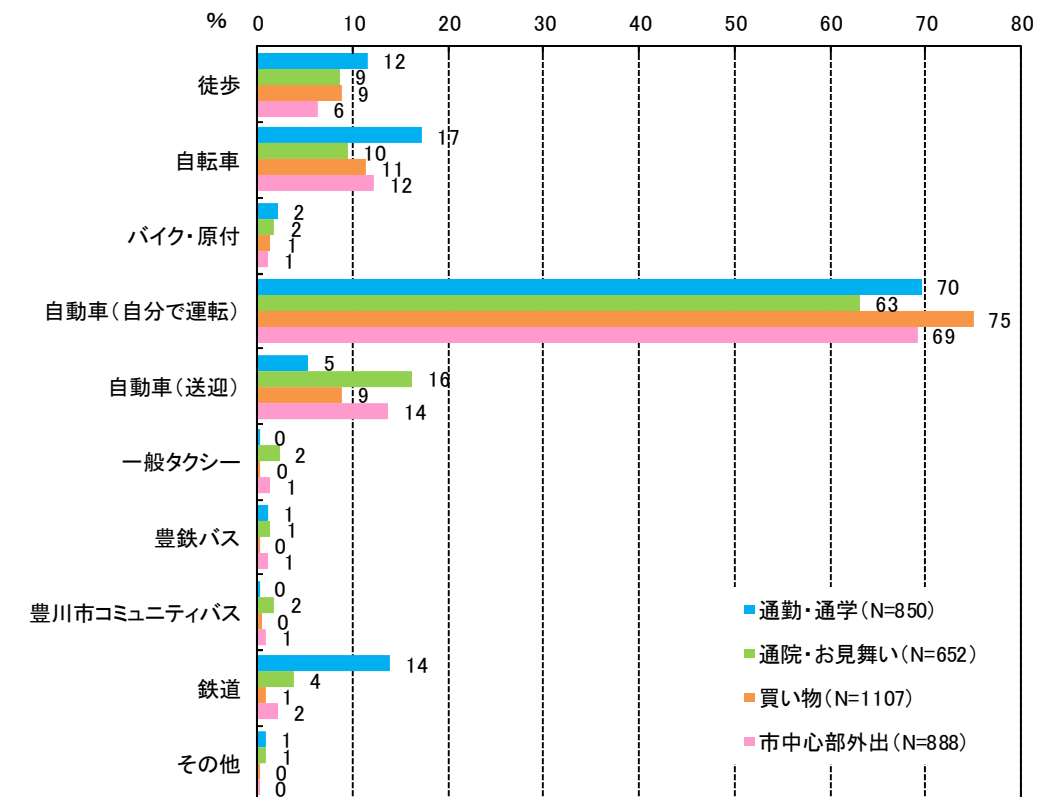
全年齢層でみると、運転免許証を保有していない方は14%となっています。

年齢別で運転免許証を保有していない割合をみると、10歳代が最も高いほか、高齢者では70歳代でやや高くなり、80歳代では62%と一層高くなっています。



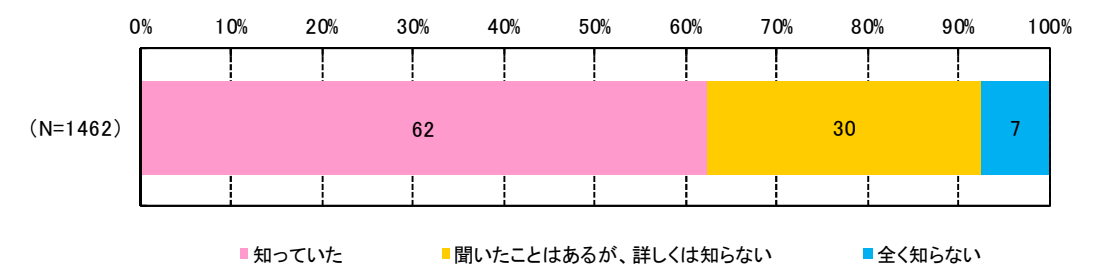
④ 目的別の移動交通手段（問 3-4、問 4-5、問 5-5、問 6-3）

各目的とも「自動車（自分で運転）」が最も多く、公共交通の利用が目立つのは通勤・通学目的となっています。

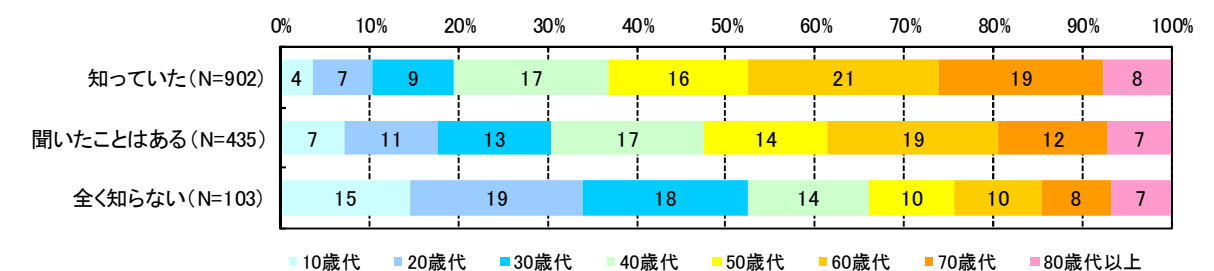


⑤ 豊川市コミュニティバスの認知度（問 7-1）

「知っていた」が62%を占め、「全く知らない」は7%となっています。



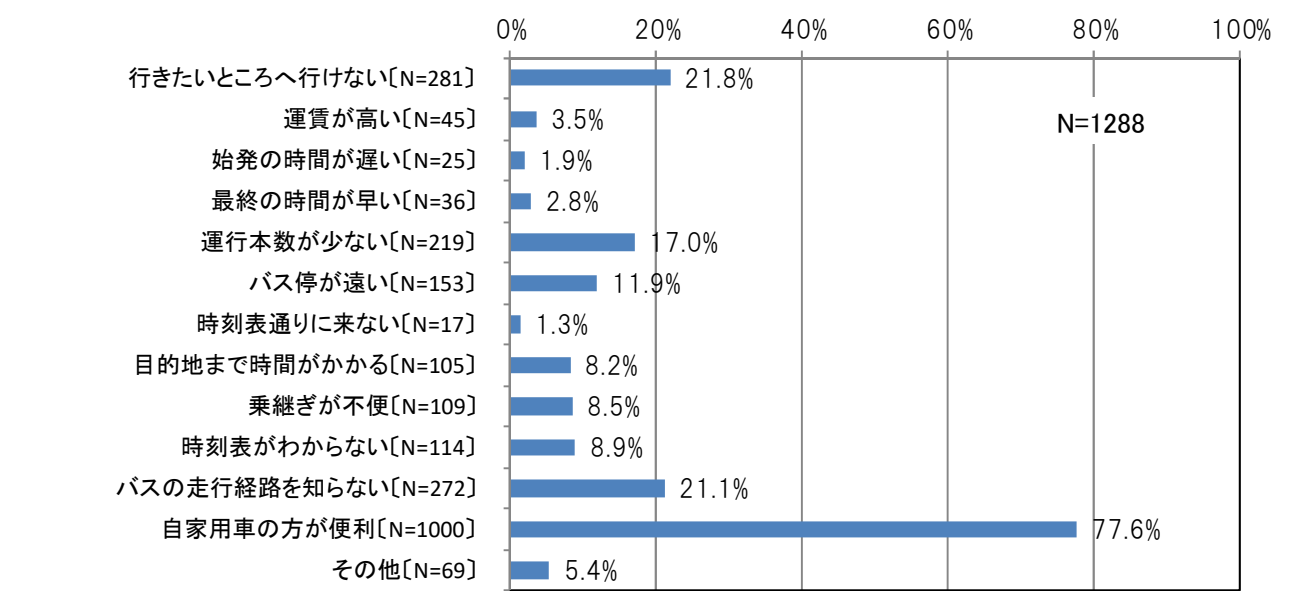
年齢別でみると、「知っていた」は高齢者の割合が高く、「全く知らない」は若年層の割合が高くなっています。



年齢別の認知状況

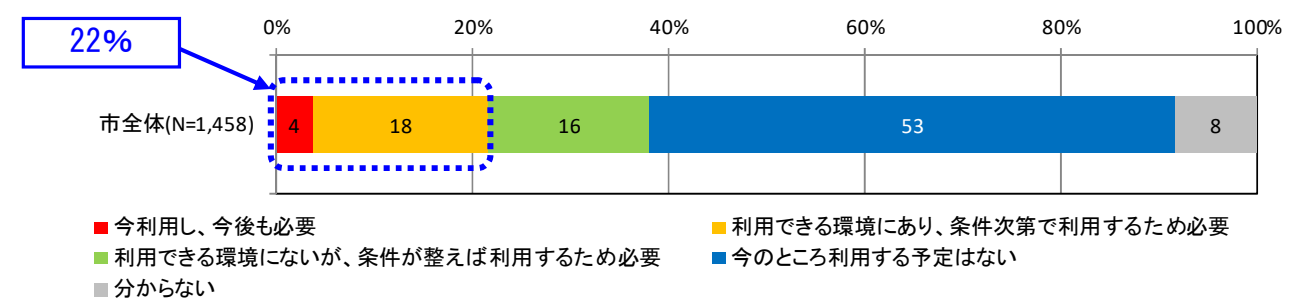
⑥ バスを利用したことがない方がバスを不便と感じるまたは使わない理由（問 7-2、問 7-5）

「自家用車の方が便利」が最も多くなっていますが、バスのサービスに関わる理由に着目すると、「行きたいところへ行けない」「運行本数が少ない」「バスの走行経路を知らない」の理由で割合が高くなっています。

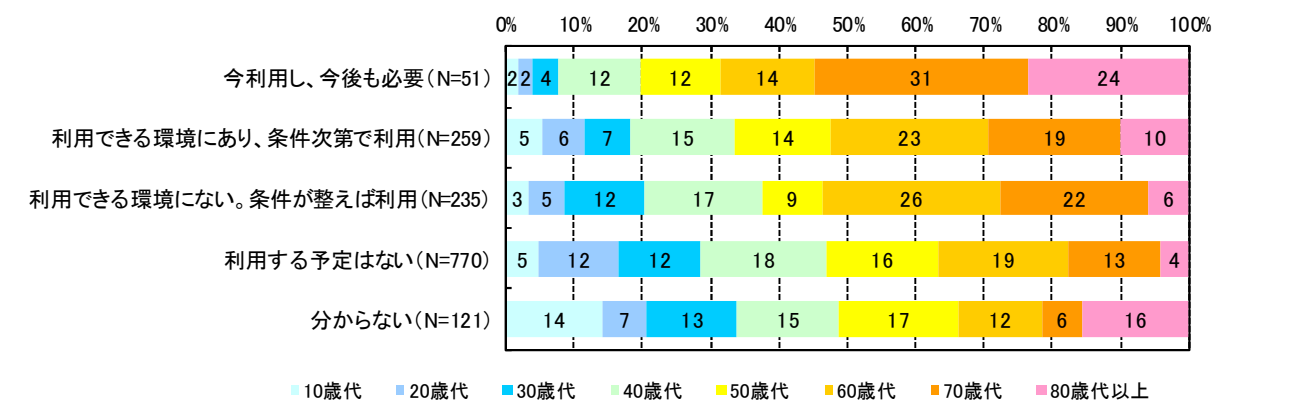


⑦ バスの必要性（問 9-1）

今利用している方と、利用できる環境にある方を合わせると、現時点で必要と感じている方の割合は約 22%となっています。



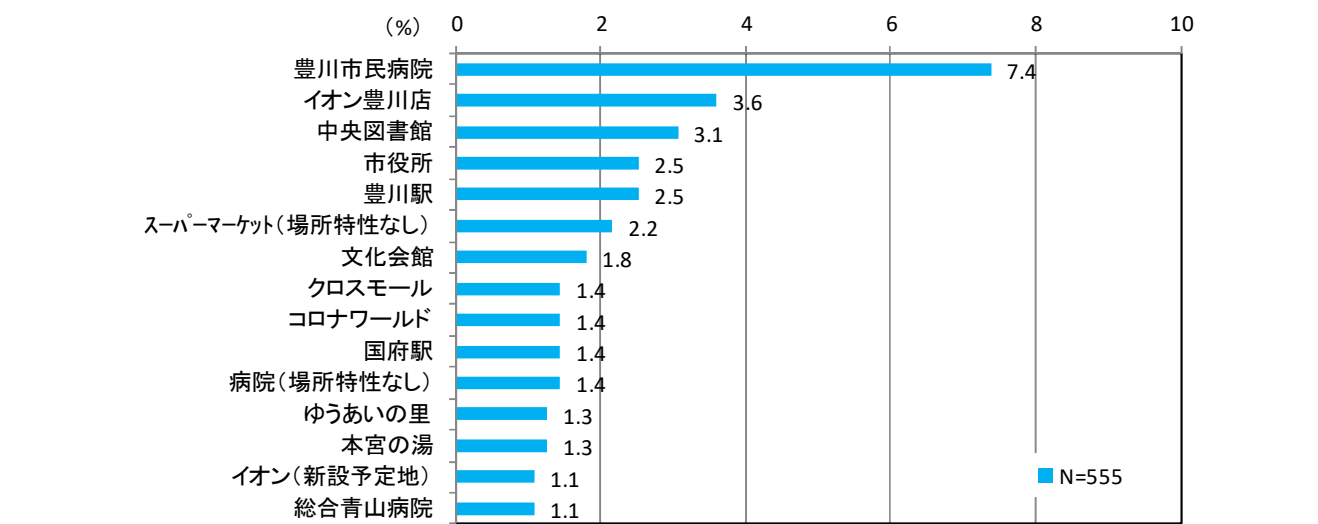
年齢別でみると、今利用している方は高齢者の割合が高く、利用する予定のない方は若年層ほど高くなっています。



⑧ バスで行きたい施設：豊川市内（問 9-2）

バスで行きたい施設は「豊川市民病院」が最も多くなっています。次いで「イオン豊川店」「中央図書館」「市役所」「豊川駅」の順で回答が多くなっています。

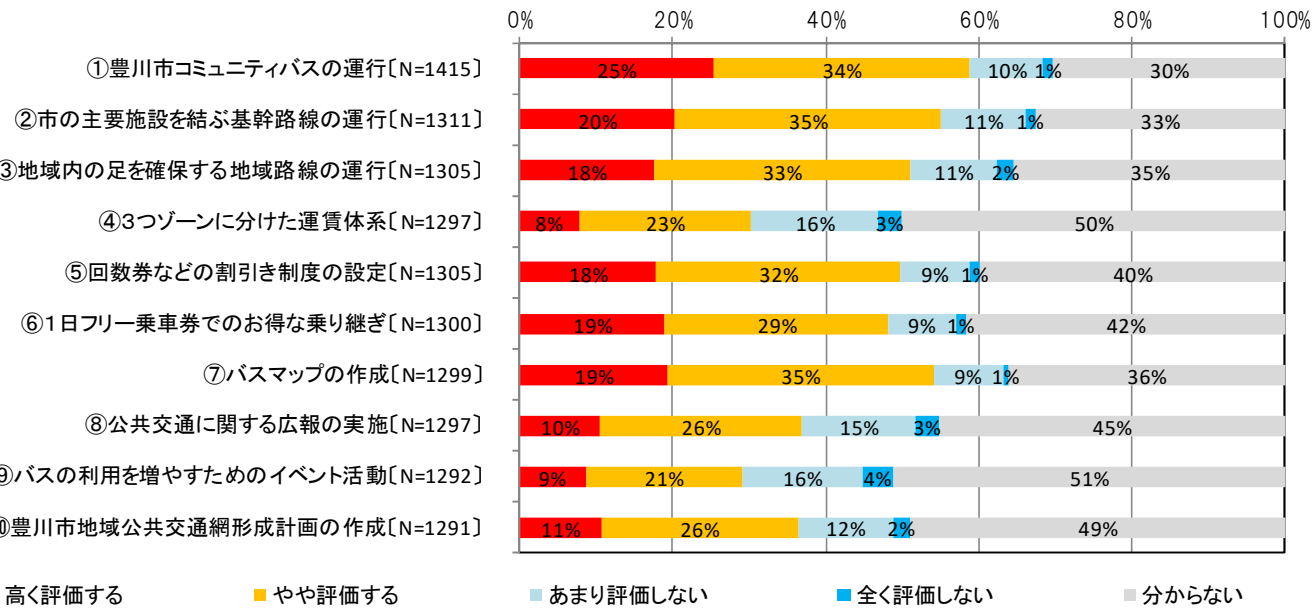
集計にあたっては、「バスの必要性」に関する設問のうち、「今のところ利用する予定はない」の回答者を除いて集計しています。



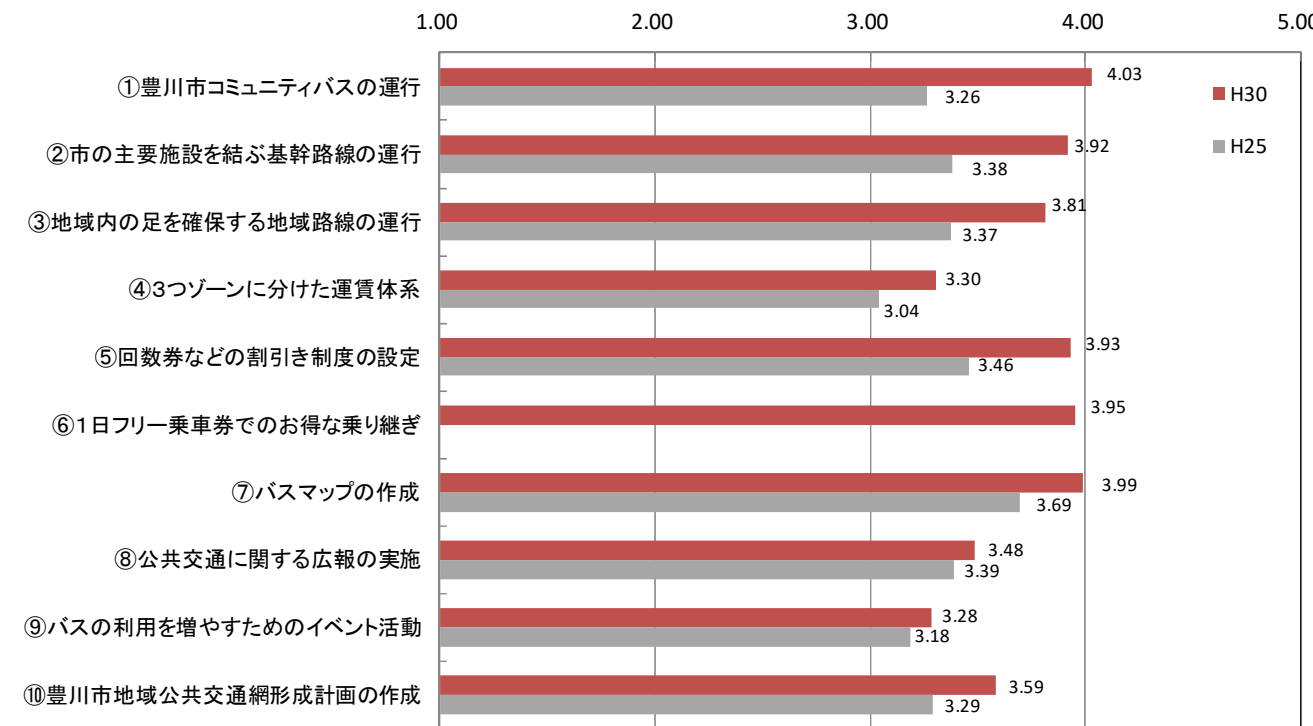
⑨ 取組の評価（問 8-1）

「高く評価する」と「やや評価する」を合わせた割合が高い項目は、「①豊川市コミュニティバスが運行されている」、「②市の主要施設を結ぶ基幹路線が運行されている」、「③地域内の足を確保する地域路線が運行」、「⑦バスマップが作成されている」が 50%を超える高さとなっています。

全ての項目で、「高く評価する」と「やや評価する」を合わせた割合の方が、「あまり評価しない」と「全く評価しない」を合わせたよりも高くなっています。



取組の評価を点数化して平成 25 年度調査と比べると、平成 30 年度調査では全体的に評価が高くなっています。

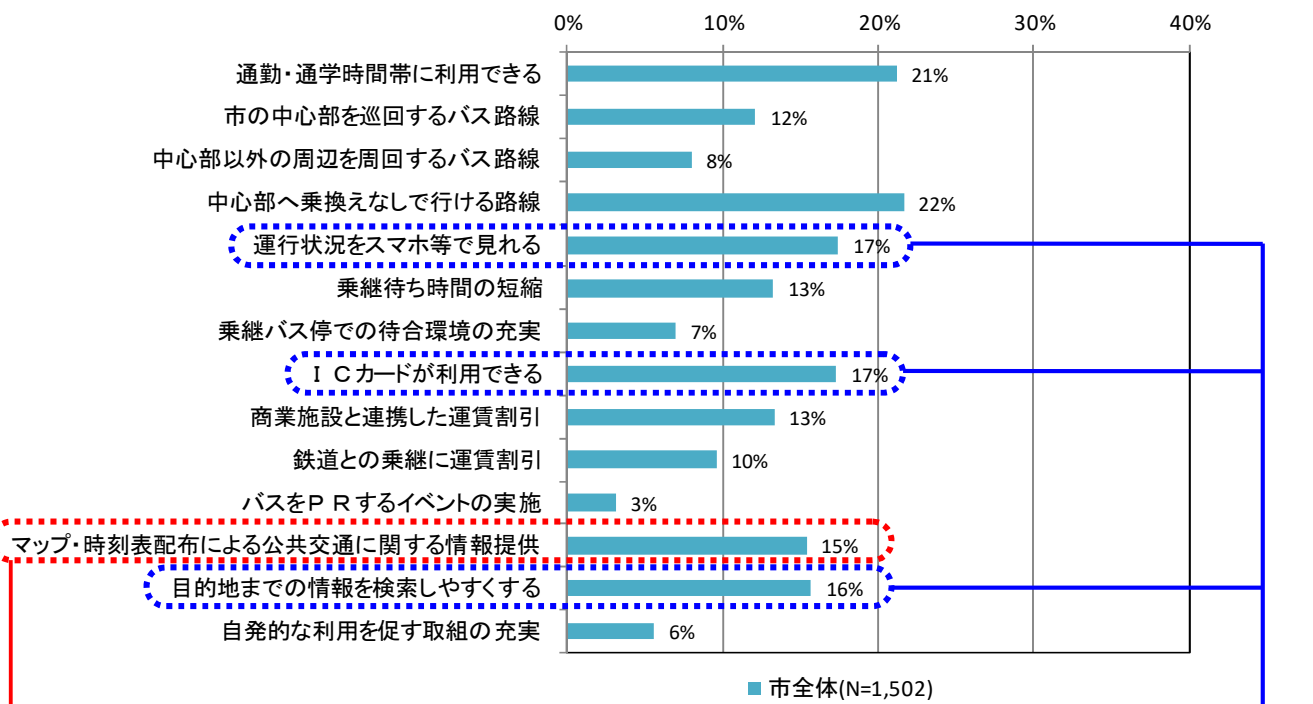


評価：高く評価→5点、やや評価→4点、あまり評価しない→2点、全く評価しない→1点、分からない→0点 として各設問の平均点を算出した。

⑩ バスの利用促進策（問 10-1）

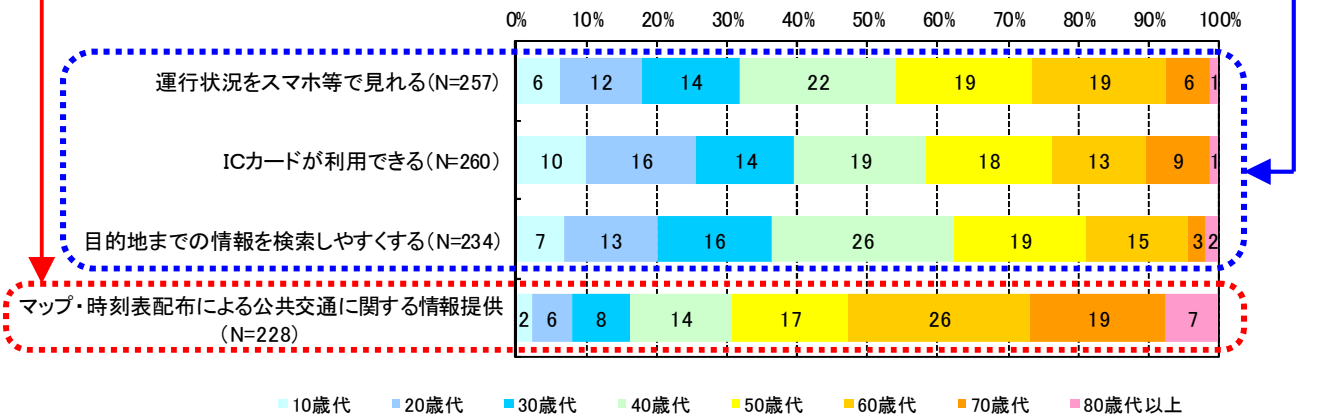
「通勤・通学時間帯に利用できる」と「中心部へ乗換えなしで行ける路線」が 2 割を超える回答があり、次いで「運行状況をスマホ等で見れる」「I C カードが利用できる」「公共交通に関する情報提供」「目的地までの情報を検索しやすくする」のソフト的な策に関する割合が高くなっています。

ソフト的な策の中でも、電子媒体を中心とした策は若年層で多く、紙媒体では高齢者層が多いという特徴があります。



【紙媒体】
高齢者層の割合が多い

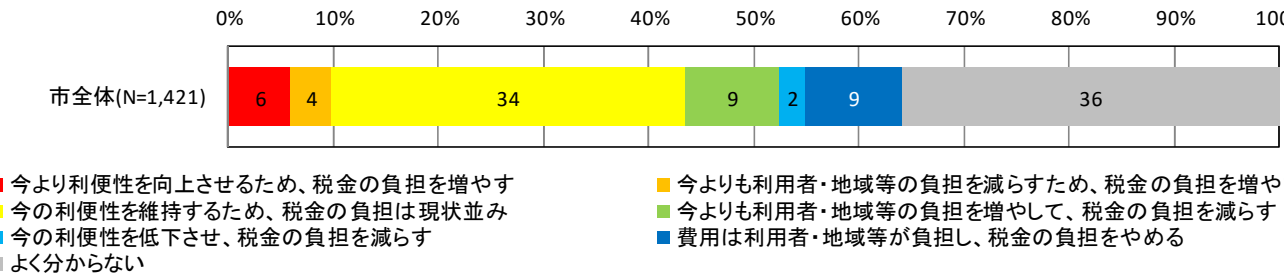
【電子媒体】
若年層の割合が多い



⑪ バス路線維持のための行政負担（問 11-1）

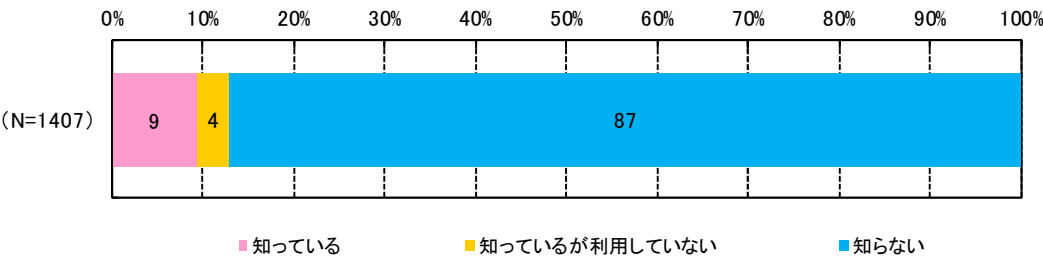
「よく分からない」の回答を除くと、「今の利便性を維持するため、税金の負担は現状並み」の割合が最も高くなっています。

また、「利便性を低下させ、税金の負担を減らす」の割合は、最も少なくなっています。

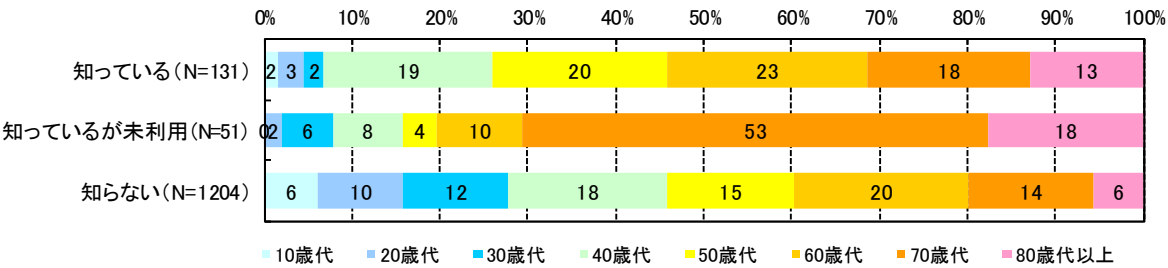


⑫ コミュニティバス回数券配布の認知度（問 12-4）

「知らない」の割合が最も高くなっています。



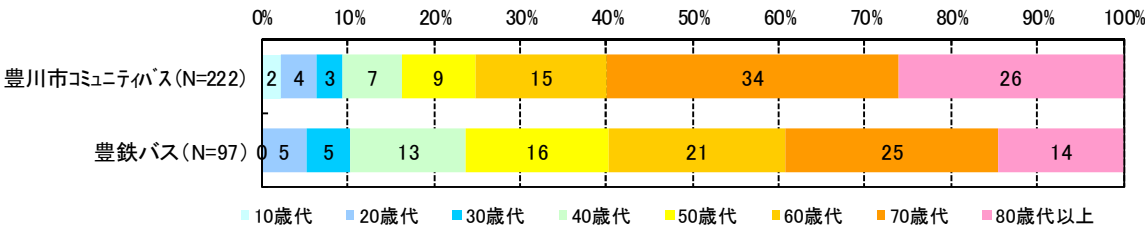
年齢別でみると、「知っている」方は高齢者の割合が高く、「知らない」方は若年層ほど高くなっています。



（２）バス利用者アンケート

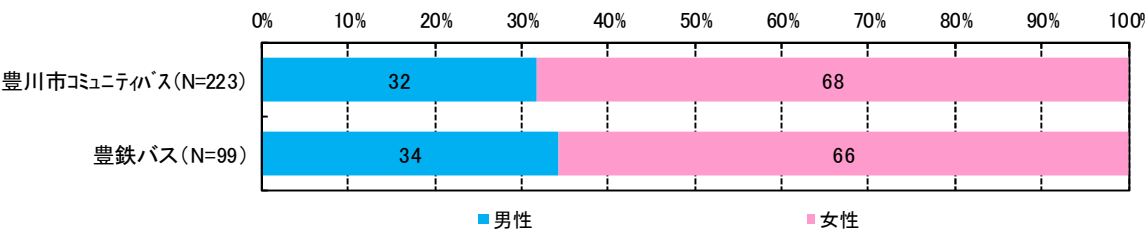
① 年齢構成（問 1（2））

豊川市コミュニティバスでは高齢者の割合が、豊鉄バスに比べて高くなっています。



② 性別（問 1（1））

性別は、豊川市コミュニティバスと豊鉄バスのともに、女性の割合が多くなっています。

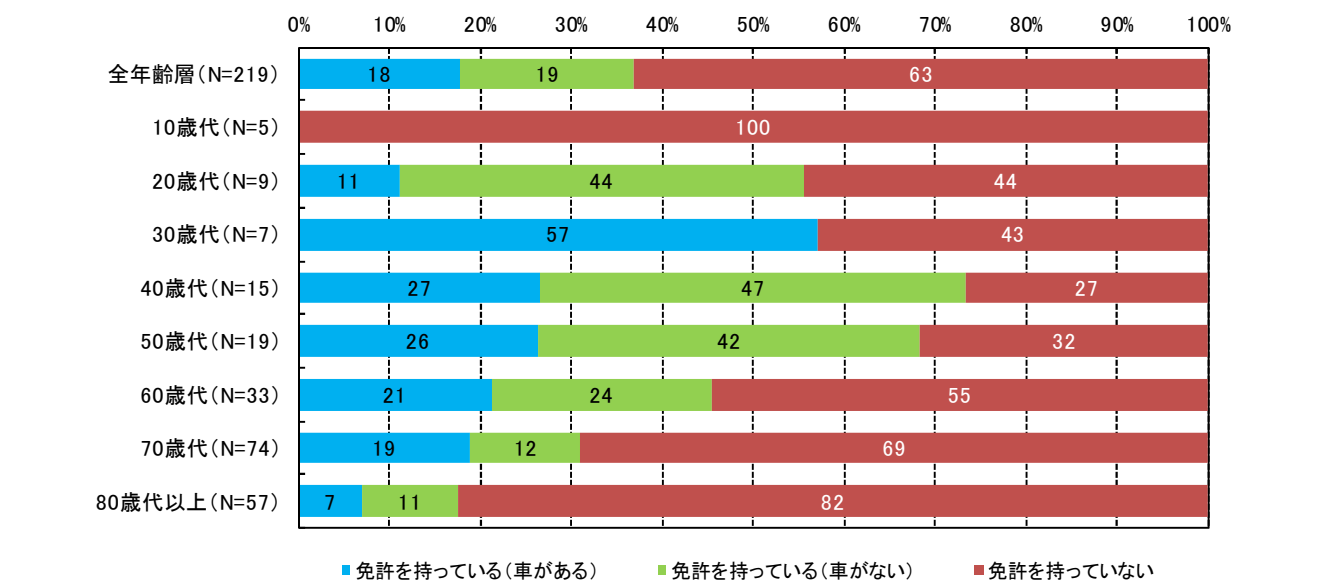


③ 運転免許証の保有状況（問１（２）、問１（５））

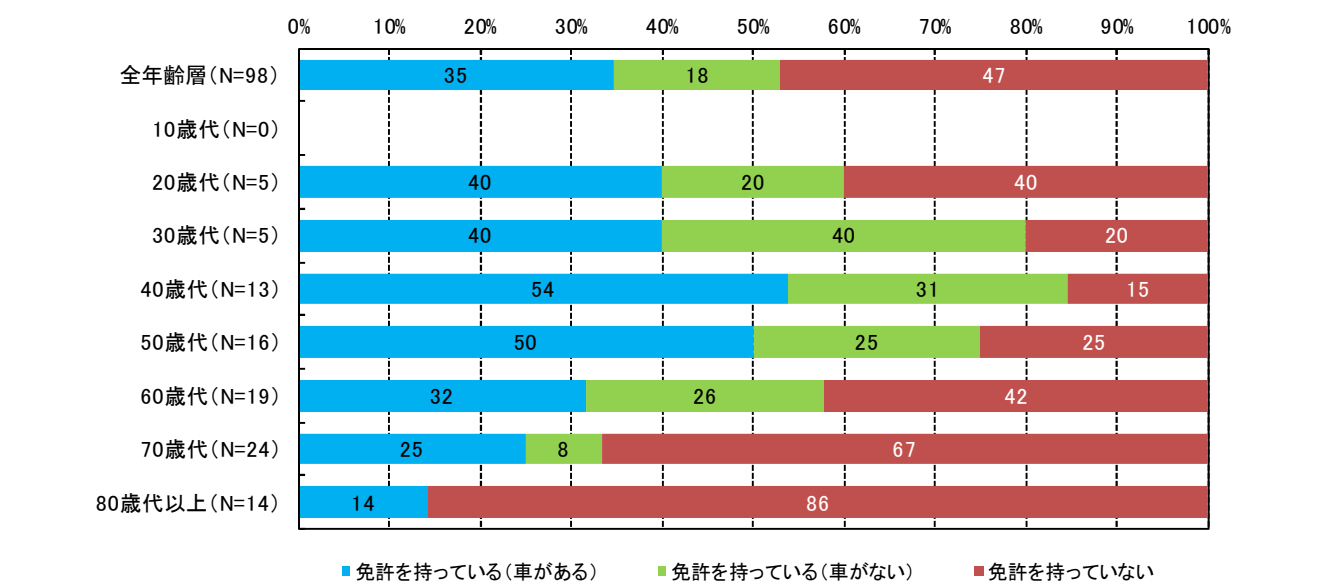
全年齢層でみると、運転免許証を保有していない方は、豊川市コミュニティバスでは63%、豊鉄バスでは47%を占めています。

年齢別で運転免許証を保有していない割合をみると、豊川市コミュニティバスと豊鉄バスのともに、10歳代から40歳代にかけて低くなり、40歳代から80歳以上にかけて高くなる傾向にあります。

【豊川市コミュニティバス】

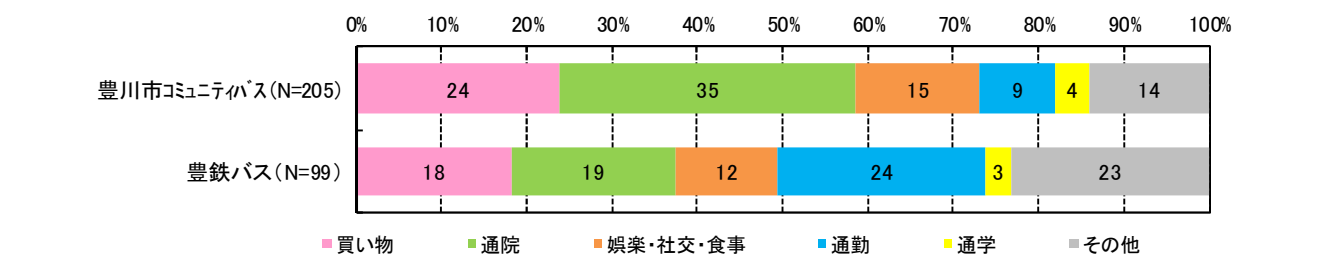


【豊鉄バス】



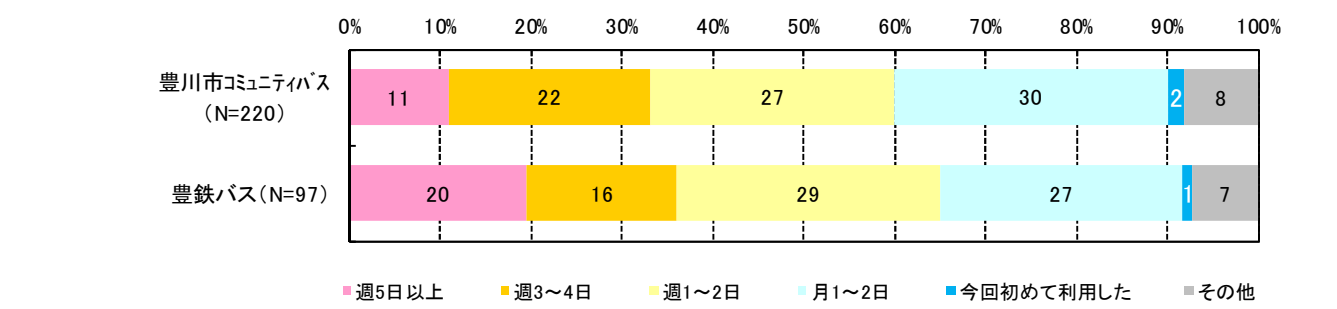
④ 利用目的（問２（１））

豊川市コミュニティバスでは「通院目的」が最も高く、豊鉄バスでは「通勤目的」が最も高くなっています。



⑤ 利用頻度（問２（３））

豊川市コミュニティバスでは「月１～２日」が最も高く、豊鉄バスでは「週１～２日」が最も高くなっており、「週５日以上」は豊川市コミュニティバスに比べて豊鉄バスでは高くなっています。

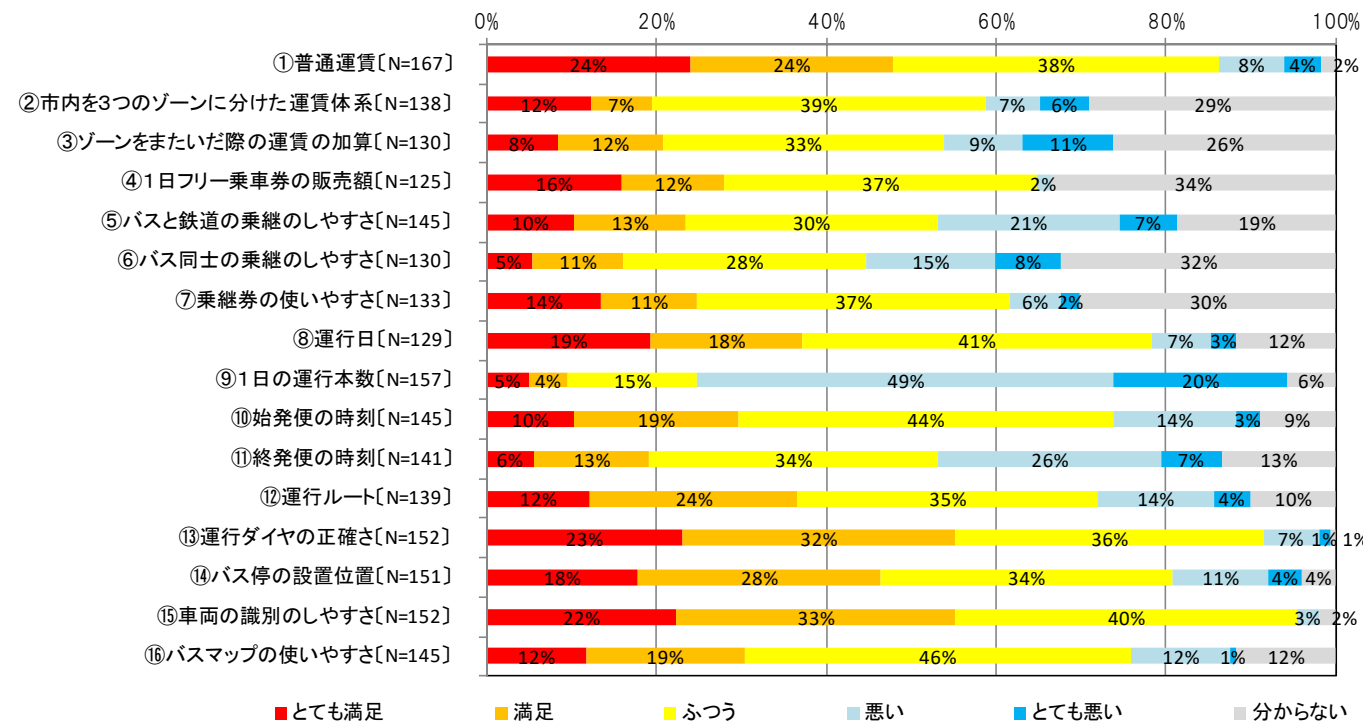


⑥ バスの満足度（問3）

【豊川市コミュニティバス】

「とても満足」と「満足」を合わせた割合が高い項目は、「⑬運行ダイヤの正確さ」、「⑮車両の識別のしやすさ」、「①普通運賃」、「⑭バス停の設置位置」が目立っています。

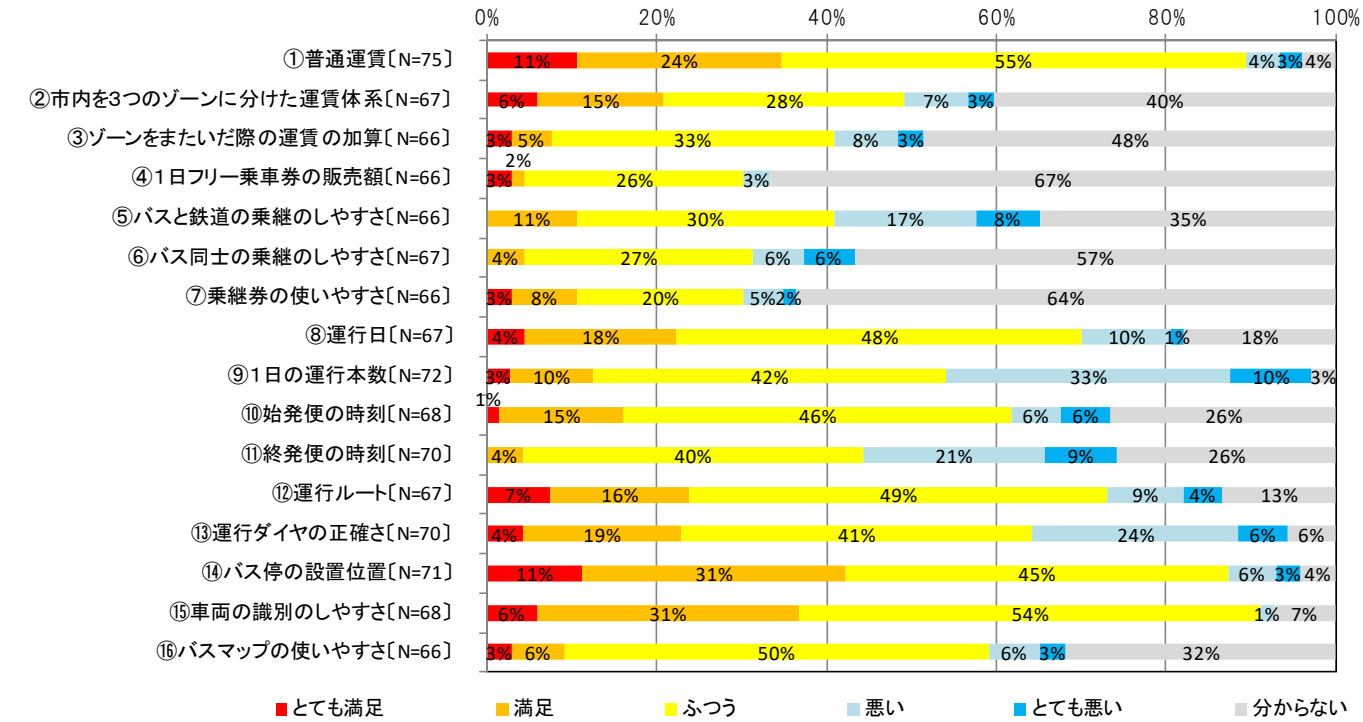
一方、「悪い」と「とても悪い」を合わせた割合が高い項目は、「⑨1日の運行本数」が目立っています。



【豊鉄バス】

「とても満足」と「満足」を合わせた割合が高い項目は、「⑭バス停の設置位置」、「①普通運賃」、「⑮車両の識別のしやすさ」が目立っています。

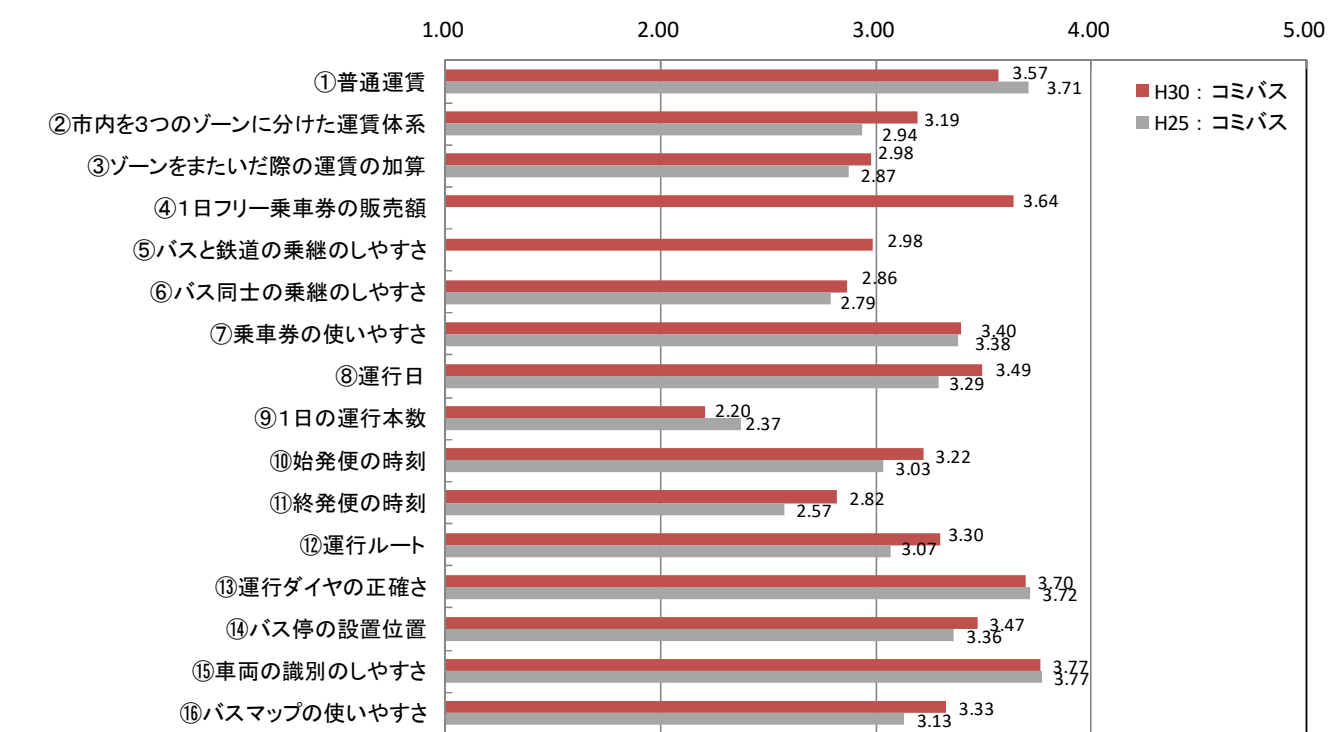
一方、「悪い」と「とても悪い」を合わせた割合が高い項目は、「⑨1日の運行本数」が目立っています。



■満足度を点数化して平成 25 年度調査と比較

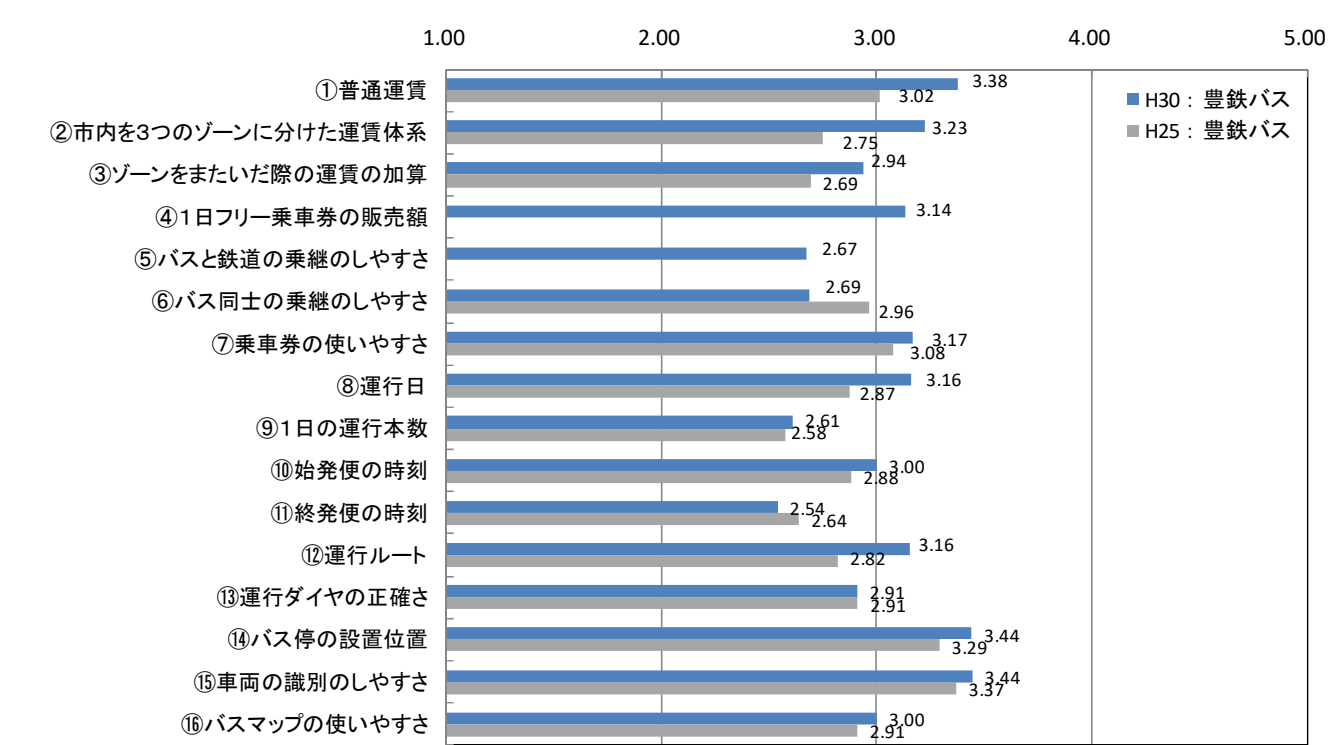
【豊川市コミュニティバス】

平成 25 年度調査と比べて、平成 30 年度調査では全体的に満足度が高くなっていますが、「①普通運賃」「⑨1日の運行本数」では低くなっています。



【豊鉄バス】

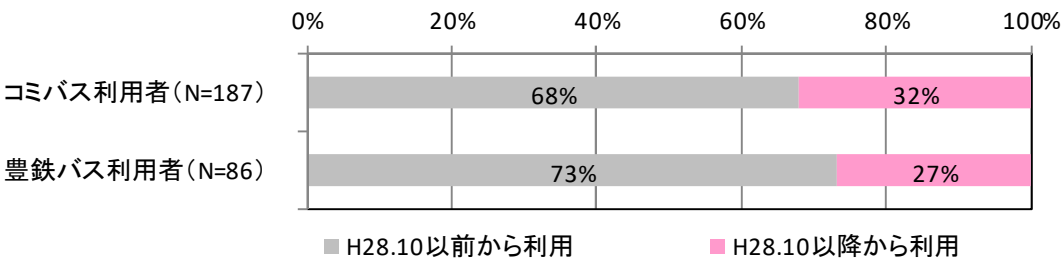
平成 25 年度調査と比べて、平成 30 年度調査では全体的に満足度が高くなっていますが、「⑥バス同士の乗継のしやすさ」は低くなっています。



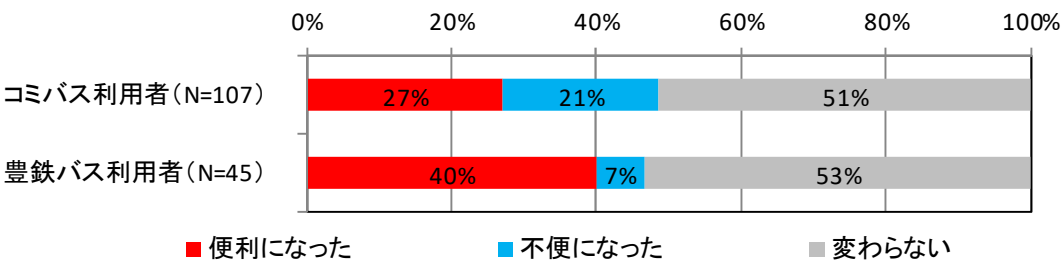
評価:とても満足→5点、満足→4点、ふつう→3点、悪い→2点、とても悪い→1点、分からない→0点 として各設問の平均点を算出した。

⑦ 路線・運賃体系変更後の変化（問 5（1））

平成 28 年 10 月の路線・運賃体系変更後に利用を始めた割合は、豊川市コミュニティバスと豊鉄バスのともに約 3 割前後となっています。また、利便性については、「不便になった」より「便利になった」の割合が高くなっています。



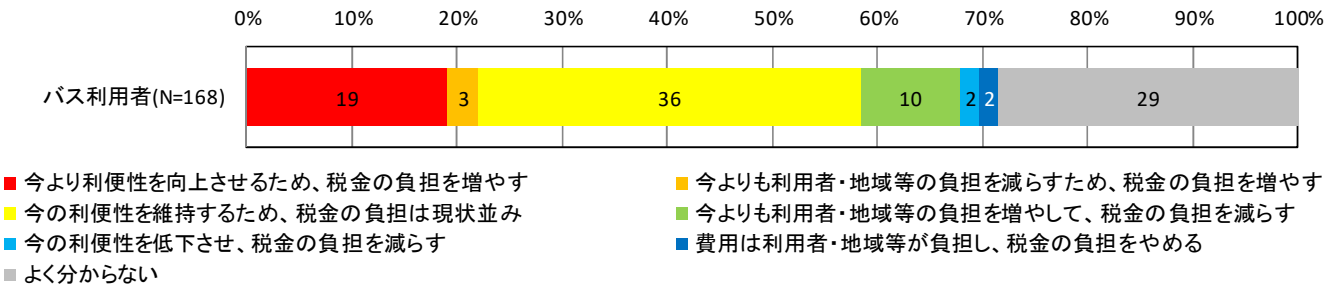
平成 28 年 10 月前後のバス利用状況



平成 28 年 10 月前後のバスの利便性の変化

⑧ バス路線維持のための行政負担（問 7）

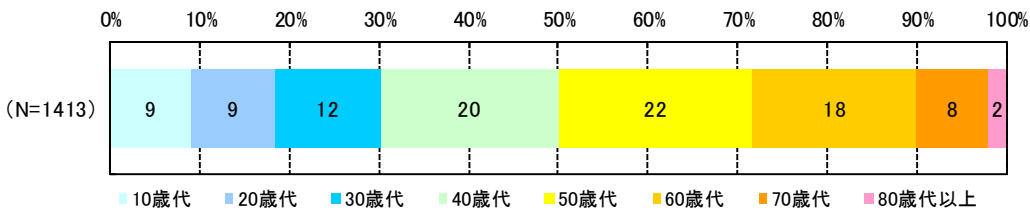
「今の利便性を維持するため、税金の負担は現状並み」の割合が高くなっています。また、「今より利便性を向上させるため、税金の負担を増やす」の割合は、市民アンケート調査結果よりもバス利用者の回答が高くなっている特徴があります。



（3）鉄道利用者アンケート

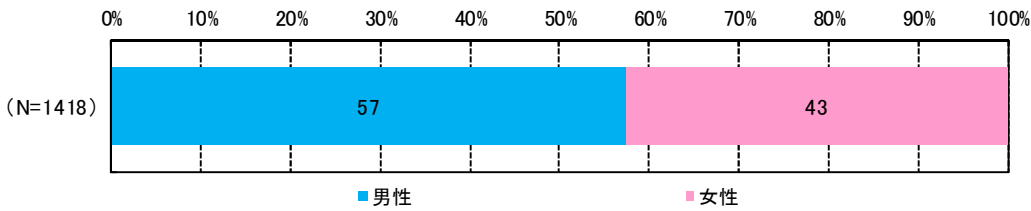
① 年齢構成（問 1（2））

鉄道利用者では、バス利用者に比べて高齢者の割合が少なくなっています。



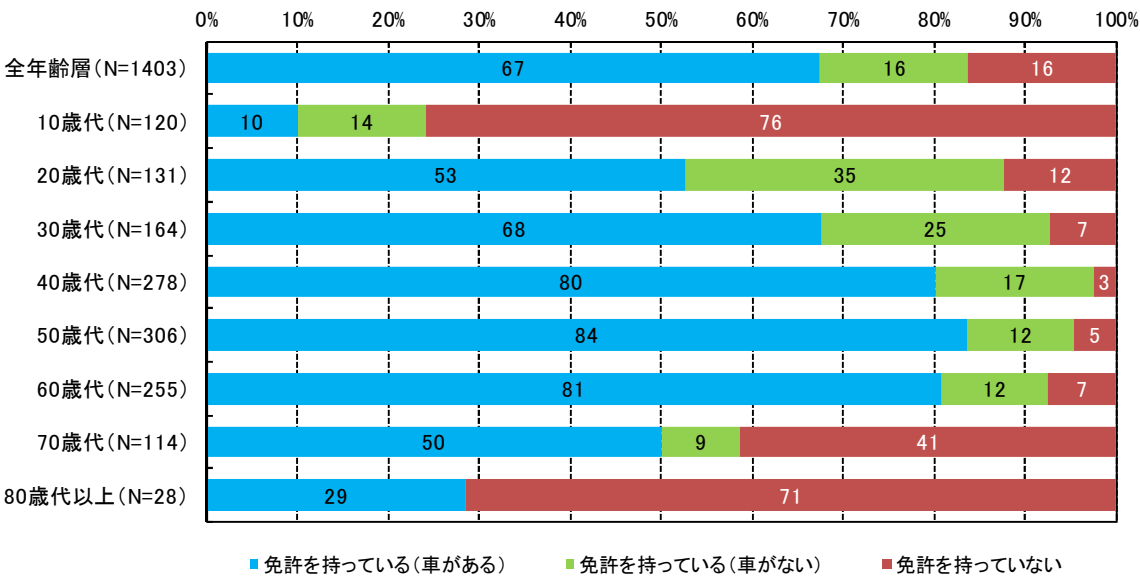
② 性別（問 1（1））

性別は男性の割合が多くなっており、バス利用者とは逆の傾向となっています。



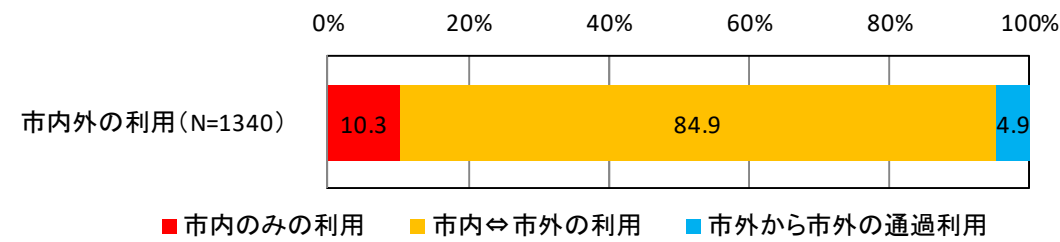
③ 運転免許証の保有状況（問 1（2）、問 1（5））

全年齢層でみると、運転免許証を保有していない方は 16%となっています。年齢別で運転免許証を保有していない割合をみると、10 歳代が最も高いほか、高齢者では 70 歳代から 80 歳代にかけて一層高くなっています。



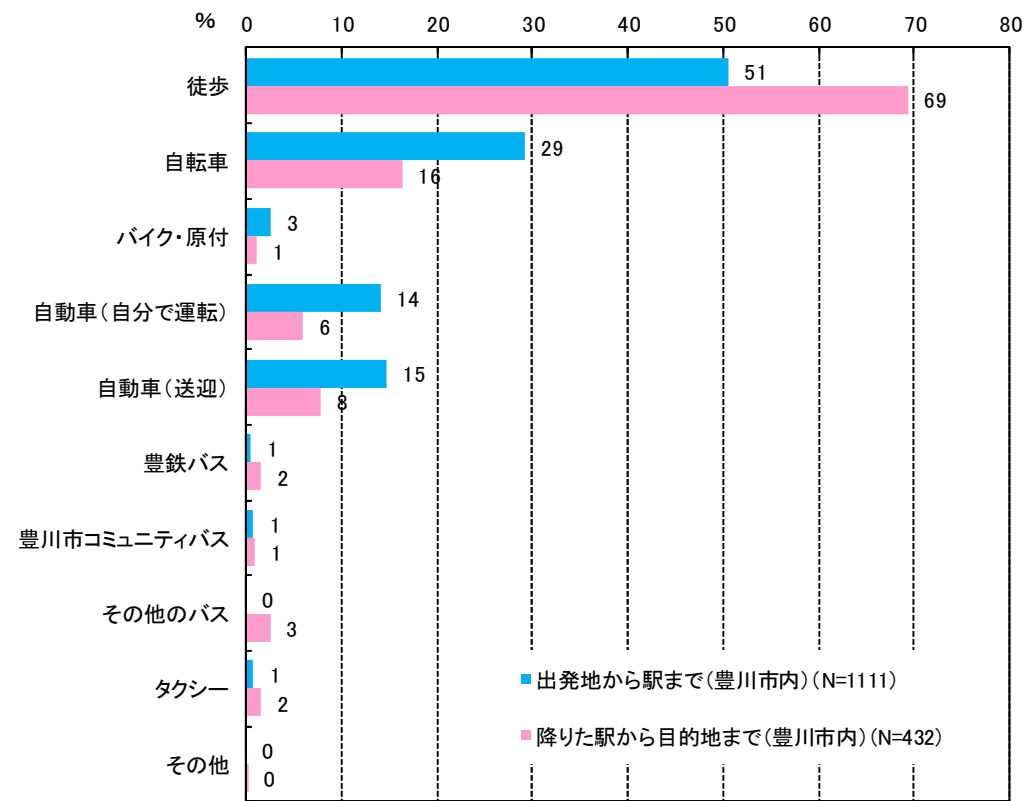
④ 鉄道の利用特性（問 2-1（1）、問 2-2（2））

鉄道利用者の約 85％は、市内と市外を行き来する利用が占める特徴があり、市内のみの利用は約 10％となっています。



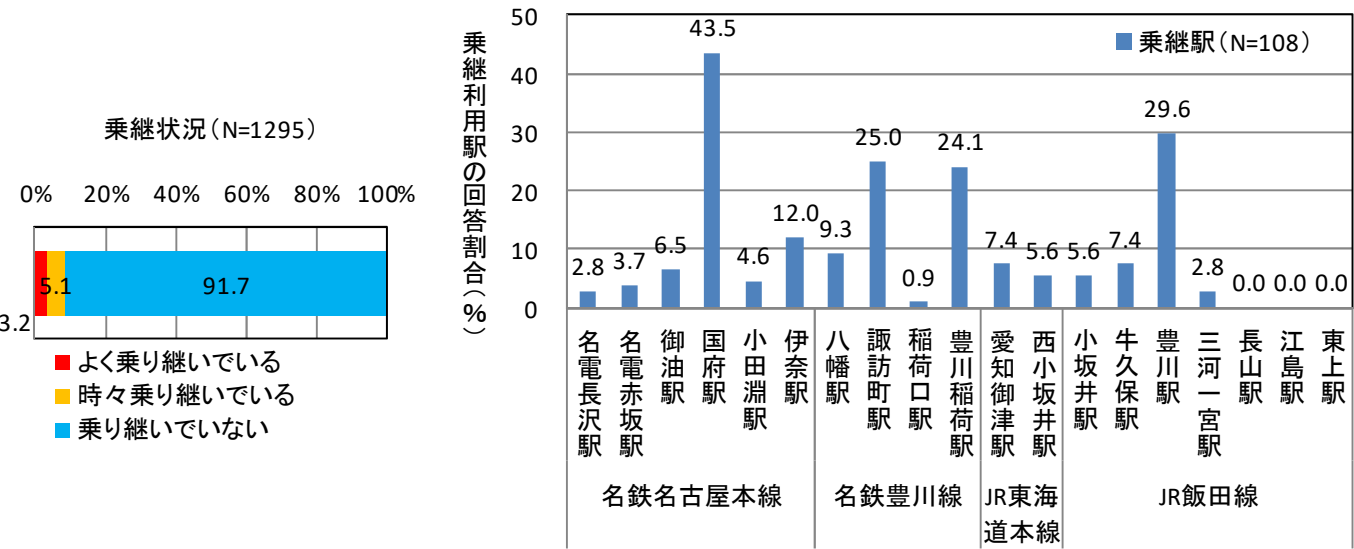
⑤ 鉄道駅までの利用交通手段：豊川市内の駅での交通手段を集計（問 2-1（3）、問 2-2（5））

「徒歩」「自転車」の順で高くなっており、降りた駅から目的地までの利用交通手段では「徒歩」が 69％で、全体の中で最も高い割合となっています。出発地から駅までの利用交通手段では、「自動車（自分で運転）」「自動車（送迎）」の利用もやや高くなっています。



⑥ 鉄道とバスの乗り継ぎ利用状況（問 3（1）、問 3（2））

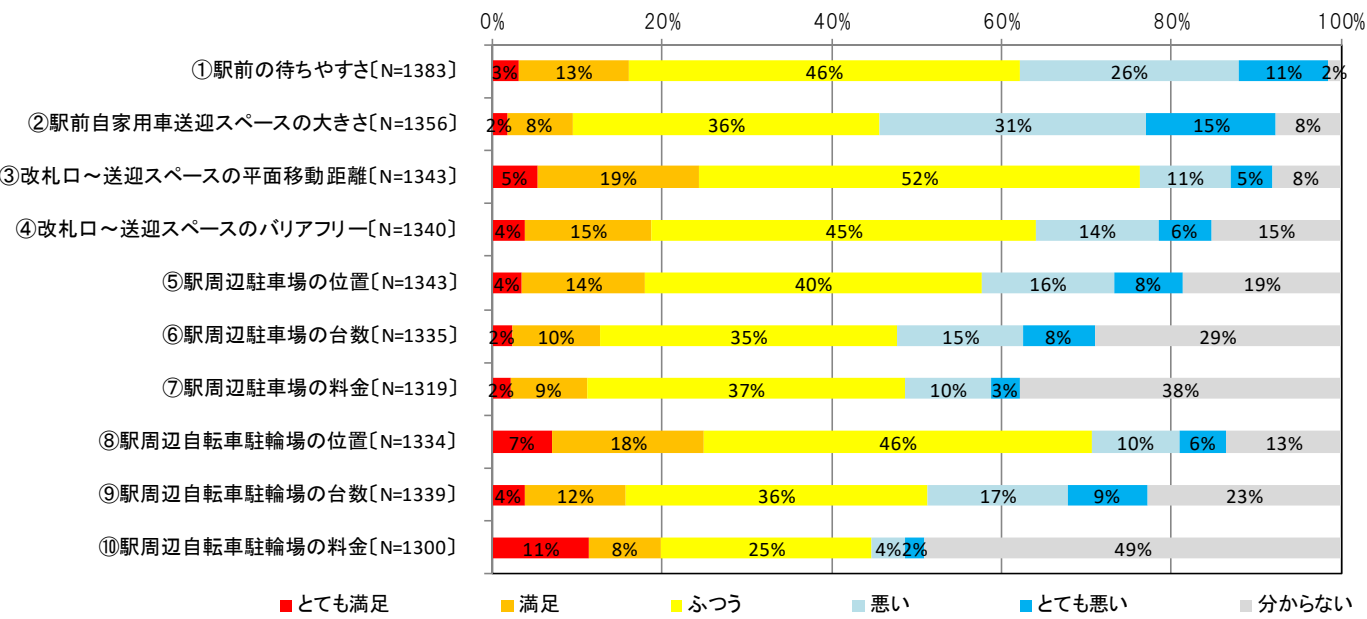
鉄道とバスの乗り継ぎ利用は約 8％と少ない状況あります。乗り継ぎ利用駅は、国府駅が最も多く、次いで豊川駅、豊川稲荷駅、諏訪町駅の市内主要駅で多くなっています。



⑦ 鉄道駅の満足度（問 4）

「とても満足」と「満足」を合わせた割合が高い項目は、「③改札口～送迎スペースの平面移動距離」と「⑧駅周辺自転車駐輪場の位置」が目立っています。

一方、「悪い」と「とても悪い」を合わせた割合が高い項目は、「②駅前自家用車送迎スペースの大きさ」が最も高く、ついで「①駅前の待ちやすさ」が高くなっています。



3. 【協議事項（１）】運行計画の変更について

3－１．音羽地区地域路線の運行計画の変更

音羽地区地域路線「ジャルダン・リラ」バス停付近の運行ルートにおいて、大型車両の通行が増加し、道幅の狭い箇所があることから、安全運行のため、運行ルートの変更を行います。

運行ルートの変更につきましては、公安委員会、運行事業者、道路管理者（県）との協議を終え、合意を得ています。

運行ルートの変更により、運行距離は１回通過ごとに約400m増加しますが、運行ダイヤの変更はありません。

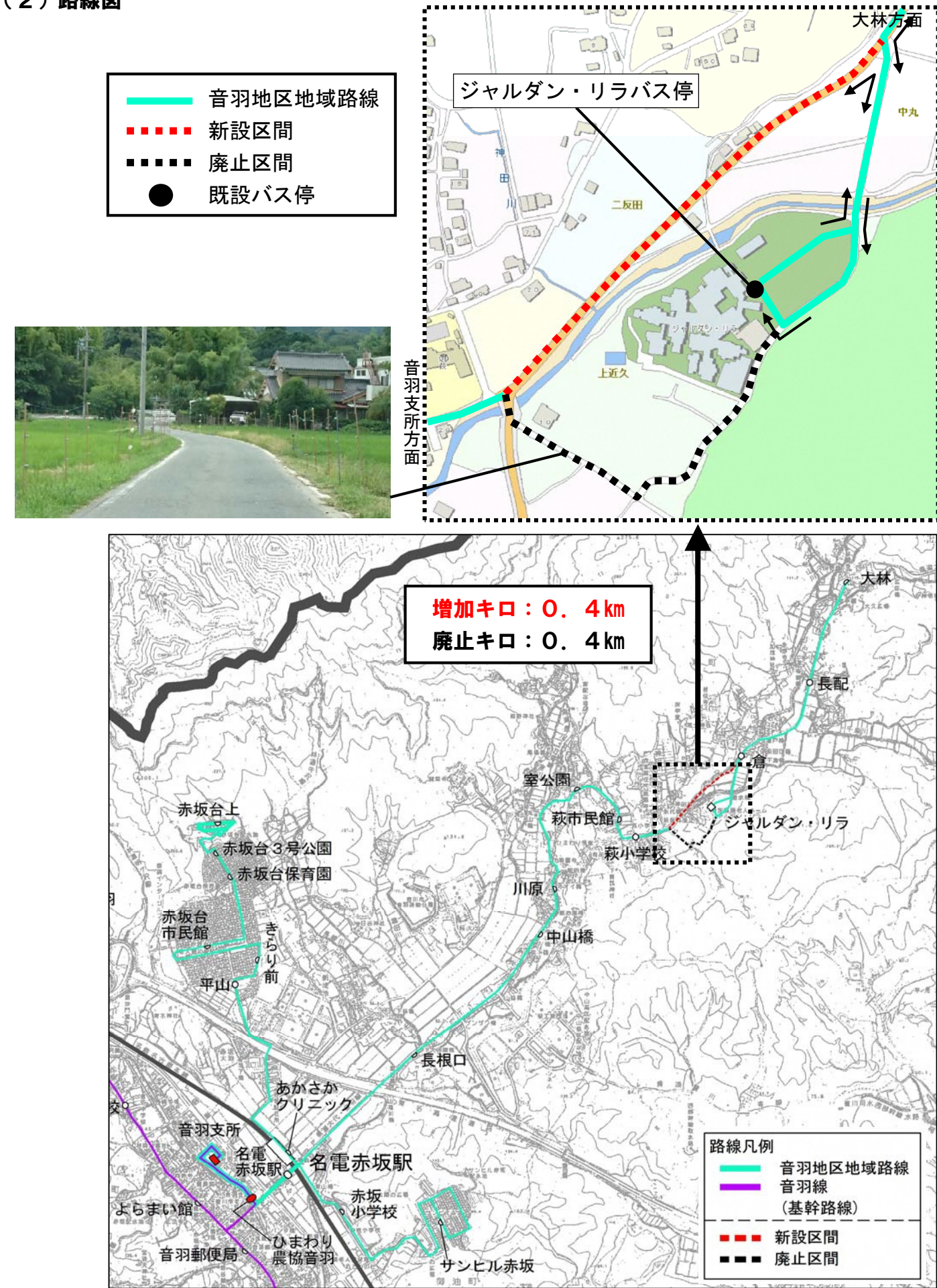
なお、変更は平成３１年５月１日（水）からの予定です。

（１）運行概要

項 目		内 容
運行事業者		豊鉄タクシー株式会社
運行ルートの概要		音羽地区内を運行して基幹路線の音羽線や名鉄線と接続します。
起点		赤坂台上
主な経由地		赤坂台市民館、名電赤坂駅、サンヒル赤坂 音羽支所、萩市民館
終点		大林
延長		赤坂台上～サンヒル赤坂～大林方面：13.58km→14.38km 大林～赤坂台上方面：10.32km→11.12km
所要時間		赤坂台上～サンヒル赤坂～大林方面：52～54分 大林～音羽支所～赤坂台上方面：41～43分
運行本数		大林方面：7便 赤坂台上方面：7便
運行日		毎日運行 ※運休日：1月1日～3日
車両	大きさ	ジャンボタクシー
	台数	1台
バス停数		23箇所
他路線との乗継可能バス停	鉄道	●名鉄：名電赤坂駅
	民間バス路線	なし
	基幹路線	●音羽線：音羽支所
	地区地域路線	なし
運賃体系		1乗車200円 ※音羽線への乗継は、当地区地域路線も音羽線と同一ゾーンとして扱い、無料で乗車可
その他の料金設定		a. 未就学児：半額。但し、同伴者1人につき1人まで無料 b. 小学生：半額 c. 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方と、その付添人1人：半額
変更日		平成31年5月1日

※延長距離を変更。

（２）路線図



4. 【協議事項（2）】地域公共交通確保維持改善事業の評価について

4－1. 地域公共交通確保維持改善事業の評価

補助対象路線（地域内フィーダー系統）については、平成29年10月1日から平成30年9月30日までを評価期間として、以下の所定の様式に基づき評価を行い、地域公共交通会議後の平成31年1月18日までに国へ提出します。

【各評価項目の評価基準】
①事業実施の適切性
A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。
②目標・効果達成状況
A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。

(別添1)

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月

協議会名：豊川市地域公共交通会議

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況			⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)		
【補助対象となる事業者名等の 名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行 (航)区間、整備内容等を記載(陸 上交通に係る確保維持事業におい て、車両減価償却費等及び公有民 営方式車両購入費に係る国庫補助 金の交付を受けている場合、離 島航路に係る確保維持事業におい て離島航路構造改革補助(調査検 討の経費を除く。)を受けている場 合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間において、前回 の事業評価結果をどのように生活交通確保 維持改善計画に反映させた上で事業を実施 したかを記載】	A・B・C 評 価	A・B・C 評 価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】			【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策 は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについ て広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画 にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず 記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載	
豊川市コミュニティバス	基幹路線：6路線 地域路線：4路線	前回の評価は、「共通ゾーン」の設 定や「豊川市1日フリー乗車券」の通 年化などにより利用者が増加に転じて いることの評価と、再編後の評価の実 施と広域路線の利用促進の取組への 期待とされた。 再編後の路線の評価とH32に計画 期間を迎える地域公共交通網形成計 画の見直しに備えて、公共交通に関す る市民アンケート調査、バス利用者ア ンケート調査、鉄道利用者アンケート 調査を実施した。 広域路線の利用促進は、平成24年 度から継続して夏休み期間中に小学 生が一律50円で利用できる利用促進 事業を、豊鉄バスを含めた東三河地域 全体で取り組み、バスで広域的な移 動体験しやすい環境づくりを行った。	A	計画どおり実施している。	B	年間利用者目標：115,000人／年 年間利用者実績：95,265人／年(H29.10～H30.09実績) 達成状況：83% 利用者数、収支率とも目標を達成していないが、昨年度と比べると利用者数は87,948人／年から95,265人／年に増加した。収支率は9.9%から11.4%に増加してい る。 平成28年10月の路線・運賃体系の変更後、平成29年2月以降は利用者数が前年同月と比べて大半で上回る状況が続いており、収支率も改善の傾向がみられた が、利用者数と収支率は目標との乖離があるので、改善傾向が継続するように周知や見直しに努める必要がある。	収支率目標：15.5% 収支率実績：11.4%(平成29年度実績) 達成状況：74% 地域主体の運行実施地域数目標：5地域 地域主体の運行実施地域数実績：4地域 達成状況：80%	平成30年度に実施したアンケート調査では、豊 川市コミュニティバスの満足度は平成25年度の調 査時と比べて良くなり、平成28年10月の路線・運 賃体系の変更後の利便性や外出機会が向上した との回答割合が多い結果が得られた。しかし、運行 本数の満足度は低く更なる対応が必要と考えられ る。 各種アンケート調査結果を活用して、現在の地域 公共交通網形成計画の評価と路線の評価を行い、 更なる利用者数の増加と移動ニーズに対応した路 線体系の分析に取り組む。 「夏休み小学生50円バス」の利用促進事業は今 後も継続する。今年度の期間中の利用者数は昨年 度から横ばいで推移したため、利用の向上を目指 して取組方法や周知方法の改善を行う。	
豊川国府線 (豊鉄バス)	国府駅～豊川駅前		A	計画どおり実施している。	B	日利用者目標：77人／日 日利用者実績：53人／日(H29.10～H30.09実績) 達成状況：69% 昨年度と比べて、利用者数は49人／日から53人／日に増加し、収支率は8.0%から8.9%に増加している。 平成28年10月の路線・運賃体系の変更後、利用者数と収支率は改善の傾向にあるが、利用者数と収支率のともに目標との乖離があるので、改善傾向が継続するよ うに周知や見直しに努める必要がある。	収支率目標：17.1% 収支率実績：8.9%(平成29年度実績) 達成状況：52%	平成28年10月の路線・運賃体系の改善に伴 い、利用者数と収支率は前回の評価期間と比べて 増加しているが、目標を達成している路線は千両 三上線のみとなっている。	
千両三上線 (豊鉄タクシー)	上千両集会所～三上地区市 民館		A	計画どおり実施している。	A	日利用者目標：33人／日 日利用者実績：33人／日(H29.10～H30.09実績) 達成状況：100% 利用者数、収支率とも目標を達成している。(利用者数：34人／日→33人／日、収支率：15.8%→16.6%) 平成28年10月の路線・運賃体系変更後の利用者数は、変更直後の平成28年10月を除いて、同年11月以降は前年同月を上回る状況が続いている。	収支率目標：13.2% 収支率実績：16.6%(平成29年度実績) 達成状況：126%		
ゆうあいの里小坂井線 (豊鉄タクシー)	ゆうあいの里～西小坂井駅		A	計画どおり実施している。	B	日利用者目標：36人／日 日利用者実績：33人／日(H29.10～H30.09実績) 達成状況：92% 昨年度と比べて、利用者数は27人／日から33人／日に増加し、収支率は12.2%から14.8%に増加している。 平成28年10月の路線・運賃体系の変更後、利用者数と収支率は改善の傾向にあるが、利用者数と収支率のともに目標未達成であるので、改善傾向が継続するよ うに周知や見直しに努める必要がある。	収支率目標：15.1% 収支率実績：14.8%(平成29年度実績) 達成状況：98%		
音羽線 (豊鉄タクシー)	グリーンヒル音羽～市役所		A	計画どおり実施している。	B	日利用者目標：32人／日 日利用者実績：31人／日(H29.10～H30.09実績) 達成状況：97% 昨年度と比べて、利用者数は26人／日から31人／日に増加し、収支率は11.2%から11.7%に増加している。 平成28年10月の路線・運賃体系の変更後、利用者数と収支率は改善の傾向にあるが、利用者数は目標未達成であるので、改善傾向が継続するように周知や見直 しに努める必要がある。	収支率目標：11.0% 収支率実績：11.7%(平成29年度実績) 達成状況：106%		
御津線 (豊鉄タクシー)	あかね児童館～市役所		A	計画どおり実施している。	B	日利用者目標：26人／日 日利用者実績：24人／日(H29.10～H30.09実績) 達成状況：92% 昨年度と比べて、利用者数は22人／日から24人／日に増加し、収支率は8.6%から9.8%に増加している。 平成28年10月の路線・運賃体系の変更後、利用者数と収支率は改善の傾向にあるが、利用者数は目標未達成であるので、改善傾向が継続するように周知や見直 しに努める必要がある。	収支率目標：9.2% 収支率実績：9.8%(平成29年度実績) 達成状況：107%	目標を達成せずB評価としたその他の路線におい ては、引き続き「共通ゾーン」や「豊川市1日フリー 乗車券」の認知度向上を行うとともに、各種アン ケート調査結果を活用して路線の評価を行い、H31 からの次期地域公共交通網形成計画の策定に備 えて、利用者数の増加に向けた路線体系の分析に 取り組む。	
一宮地区地域路線 <東回り> (豊鉄タクシー)	いかまい館～いかまい館		A	計画どおり実施している。	B	日利用者目標：42人／日 日利用者実績：22人／日(H29.10～H30.09実績) 達成状況：52% 昨年度と比べて、利用者数は25人／日から22人／日に減少しているが、収支率は7.3%から7.6%に増加している。 路線の利用形態は主に一宮地区内の天然温泉の「本宮の湯」や健康福祉センターである「いかまい館」の利用が大半を占めており、OD調査結果における70歳以上 の利用割合は88%を占め、後期高齢者の利用割合が高い特徴は昨年度までと同様の傾向である。 利用者数の昨年度は評価期間では増加したものの本評価期間では減少となり、一宮地区内の天然温泉以外の移動ニーズの把握と、移動ニーズに対応した路線体系 への再構築の取り組みが必要と考えられる。	収支率目標：18.0% 収支率実績：7.6%(平成29年度実績) 達成状況：42%		高齢者を中心とした一宮地区内の移動ニーズを 把握するため、今年度実施した各種アンケート調査 とは別に、一宮地区内独自に公共交通に関する市 民アンケート調査とバス利用者アンケート調査を 実施した。結果を分析し、移動ニーズに対応した路 線体系への再構築に向けて取り組む。
一宮地区地域路線 <西回り> (豊鉄タクシー)	いかまい館～いかまい館								
一宮地区地域路線 <中回り> (豊鉄タクシー)	いかまい館～いかまい館								

4-2. 地域間幹線系統の評価

豊鉄バス新豊線・豊川線は、運行系統ごとで4系統が地域間幹線系統の国・県の補助金を受けています。

所定の様式に基づいて運行事業者と沿線市にて評価を行い国へ提出されますが、ここでは地域間幹線系統の評価の共通認識を図るため、概要を抜粋して報告します。

新豊線	豊橋駅前～ 新城富永 接続の状況(△□) <接続する系統> 名古屋鉄道本線・豊川線、JR東海道本線・飯田線、豊橋鉄道渥美線、豊鉄バス(伊良湖本線) <接続される系統> 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コミバス①しおかぜバス②かわきたバス、豊川コミバス③豊川国府線④千両三上線⑤ゆうあいの里小坂井線⑥一宮線⑦音羽線⑧御津線⑨一宮地区地域路線、新城Sバス⑩北部線、⑪西部線⑫中宇利線⑬吉川市川線⑭作手線	模式図 (△□) 豊橋市 旧豊川市 旧一宮町 新城市
	豊橋駅前～豊川市民病院 ～豊川駅前 接続の状況(△□) <接続する系統> 名古屋鉄道本線・豊川線、JR東海道本線・飯田線、豊橋鉄道渥美線、豊鉄バス(伊良湖本線) <接続される系統> 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コミバス①しおかぜバス②かわきたバス、豊川コミバス③豊川国府線④千両三上線⑤ゆうあいの里小坂井線⑥一宮線⑦音羽線⑧御津線	模式図 (△□) 豊橋市 豊川市
豊川線	豊橋駅前～ 豊川駅前 接続の状況(△□) <接続する系統> 名古屋鉄道本線・豊川線、JR東海道本線・飯田線、豊橋鉄道渥美線、豊鉄バス(伊良湖本線) <接続される系統> 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コミバス①しおかぜバス②かわきたバス、豊川コミバス③豊川国府線④千両三上線⑤ゆうあいの里小坂井線⑥一宮線⑦音羽線⑧御津線	模式図 (△□) 豊橋市 豊川市
	豊橋駅前～ 豊川市民病院 接続の状況(△□) <接続する系統> 名古屋鉄道本線・豊川線、JR東海道本線・飯田線、豊橋鉄道渥美線、豊鉄バス(伊良湖本線) <接続される系統> 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コミバス①しおかぜバス②かわきたバス、豊川コミバス③豊川国府線④ゆうあいの里小坂井線⑤音羽線⑥御津線	模式図 (△□) 豊橋市 豊川市

(1) 目標達成状況

利用者数は、系統別では目標に達していない系統もみられますが、全体で合わせると目標を越える結果となっています。

路線	新豊線	豊川線			
運行区間 利用者 (単位：人/年)	豊橋駅前～ 新城富永	豊橋駅前～ 豊川市民病院～ 豊川駅前	豊橋駅前～ 豊川駅前	豊橋駅前～ 豊川市民病院	合 計
目 標 ※H28 利用者数 ×101%で設定	144,476	135,972	42,028	41,161	219,161
利用者数	138,137	141,497	42,765	48,563	232,825
評 価	B	A	A	A	—
(参考数値)					
H29 利用者数	150,332	154,646	39,204	45,892	239,742

※評価の凡例 A：年間目標利用者数を達成できた場合

B：年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の半数以上の利用があった場合

C：年間目標利用者数が目標の半数に満たなかった場合

(2) 平成30年度の取り組み状況

- ・豊鉄バス：豊川市内沿線住民に地域密着型の時刻表を配布し、利用促進に努めました。新豊線では、独自観光チラシを作成し、豊橋駅前のバスセンターに設置しました。
- ・豊川市：豊川市コミュニティバスの時刻表改正に合わせて、豊川市バスマップに豊鉄バスの新豊線・豊川線の時刻表を継続掲載し、利用促進に努めました。

(3) 今後の課題

- ・豊鉄バス新豊線：3市を跨ぐ長大路線であり、相互間利用者が増える対策が必要です。
- ・豊鉄バス豊川線：ここ数年の利用者数の増減に差がありません。市を跨ぐ利用者の比率が低いのでその対策が必要と考えています。
- ・豊川市：豊川市コミュニティバスとの乗継利用に配慮し、結節点での乗継情報を提供するなど、利便性の向上を図る必要があります。

(4) 平成31年度、平成32年度に行う取り組み

- ・豊鉄バス新豊線：公共施設等へ時刻表の配布をしたり、イベント等でのPRに努めます。
- ・豊鉄バス豊川線：豊川市内沿線住民に、その地域に特化した時刻表を作成して、引き続き利用促進を図ります。
- ・豊川市：平成30年夏に実施したバス・鉄道利用者アンケートや市民アンケートの結果を分析し、的確に移動のニーズや利用状況等を把握します。

(5) 中、長期的な取り組み

- ・豊鉄バス：道路交通事情の変化や沿線の施設の変化を踏まえ、住民の交通需要を沿線市と協力して把握し、その状況に対応した経路や運行計画になるよう沿線市町と検討していきます。
- ・豊川市：バス沿線の施設等の変化も踏まえ、運行事業者とも連携を図り、豊川市コミュニティバスや鉄道と一体となった路線網の形成に努めます。